

破產法案外一件特別委員會議事速記録第七號

大正十一年二月十日(金曜日)午前十時十七分開會

○委員長(伯爵松平賴壽君)前同引續キマシテ、是ヨリ委員會議ヲ開會イタシマス、第二百六條カラ條項ヲ二ツツツ位願フテドン、ト御説明ヲ願フタ方宜カラウト思ヒマス、二百六條ト二百七條ト願ヒマス

○政府委員(池田寅二郎君)二百六條ハ監査委員ニ對スル監督ノ規定デアリマシテ、金錢其他ノ高價品ヲ預ケテ居リマスルモノヲ、ソレヲ引出シマスル時ニハ、監督上監査委員ノ同意ヲ得シメル、又場合ニ依ッテハ裁判所ノ許可デヤルコトモアル、併シ債權者集合デ以テ之ニ異ル決議ヲ致シマシテ、相當ノ範圍ノ自由ヲ許シテ居リマス、ソレカラ此第二項第三項ハ左様ナ管財人ノ行為ニ對シマシテ制限ノ規定方一方ニ出來テ居リマス、ケレドモ、ソレニ拘ラズシテ管財人ガ假ニ預金ヲ引出スト云フヤウナコトガアリマシタ時ニ、其預金ヲ受ケテ居ル者ノ方デ、管財人ガ制限ニ背イテ引出スト云フコトノ情ヲ知リマセズデ、抽出シテ致シマシタト云フ時ニハ之ヲ保護スルノ必要上、善意ニシテ過失ノ無イトキハ、ソレハ效力ヲ有セシムルコトニシマシタノデアリマス、三項ノ方ハ矢張支拂ヲ受クル所ノ方法トシテ手形ヲ振出スト云フヤウナ行為ヲ致シマシタ時ニハ、矢張同様ニ之ヲ取扱フト云フ意味ニナツテ居リマス、ソレデ二百七條ハ會社其他ノ法人ガ破産ノ宣告ヲ受ケマシタ場合ニハ、出資ノ義務ヲ會社ニ對シテ監視シテ居ル者ニ對シマシテハ、其出資ノ支拂ノ時期ニ拘リマセズ、清算人ノ方カラ出資ノ支拂ヲ求メルコトヲ得ルト云フ趣旨ノ規定デアリマス、商法ノ九十二條ガ即チ其規定ニナツテ居リマス、之ヲ破産ノ場合ニ一般ニ準用シタ次第デアリマス、ソレカラ相互保險會社ニ付マシテハ恰モ基金ト云フモノガ資本ニ相當スルモノデアリマシテ、矢張基金拂込ノ義務ヲ……基金ヲ取出スル所ノ義務者ガ居ルノデアリマス、ソレニ對シテ基金ノ拂込ヲ求メルニ付マシテ、矢張同様ノ時期ニ拘ラズ支拂ヲナサシムルコトガ出來ルト云フコトノ規定ニナツテ居リマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 此二條ニ付テ御質問ヲ願ヒマス

○藤田四郎君 次ヲ願ヒマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) サウスレバ二百八條九條

○政府委員(池田寅二郎君) 八條以下ハ續イテ居リマスカラ……

○委員長(伯爵松平賴壽君) ドコ迄續イテ居リマスカラ

○政府委員(池田寅二郎君) 二百二十四條邊マデ……
○委員長(伯爵松平賴壽君) 餘リ長クナルト困リマスカラ二百十三條マデ御ヤリテ願ヒマス

○政府委員(池田寅二郎君) 二百八條以下十數條ノ規定ハ無限責任又ハ保證責任ノ相互保險會社ノ破産イタシマシタ時ニ、其社員ニシテ無限責任又ハ保證責任ヲ負フテ居ル者ニ對シマシテ今度ハ損失ノ分擔ノ規則ニ依リマシテ、損失ヲ其社員ニ割當テマシテ、サウシテ之ヲ取立テマスル簡便方法ヲ規定シテ居ルノデアリマス、ソレデ損失分擔ノ割合云フモノガ、定款他デ極メテ居ルノデアリマス、ソレニ應ジマシテ會社ノ債務ヲ辨濟スルニ必要ナル金額ヲ社會ニ賦課スルト云フコトニナルノデアリマス、其賦課ヲ致シマスハ付テ若シ無資力者ガ社員中ニアリマシタナラバ、其分ハ他ノ社員ニ之ヲ賦課シテサウシテ適當ノ金額ヲ調達スルト云フ規定ニナツテ居リマス、ソコデ二百九條ハ其手續ヲ致シマスルニ付テ先ヅ此計算表ト云フモノヲ造ルコトニナリマス、百八十九條ノ二項ヲ以テ清算人ガ就職シマスレバ先ヅ財產目錄、貸借對照表ノ等ヲ作ルデアリマス、之ヲ其總本ヲ裁判所ニ差出スコトニナツテ居リマス、ソコデ大體其財產ノ見當ガ付マスルノデアリマス、ソレデ其後直グ引續イテ計算表ト云フモノヲ作りマシテ、各社員ニ割當ツベキ所ノモノヲ此書面デ以テ示スト云フコトニナリマス、ソレカラ二百十條ハ其計算表ヲ裁判所ニ提出シマシテ計算表ニ付テノ認可ヲ請フコトニナリマス、ソレニハ主務官廳ノ認證シマシタ定款ノ謄本ヲ添ヘルコトニナリマス、ソレカラ相互保險會社ニハ社員名簿ナルモノガ登記所ニ備ヘテ居リマス、ソレデ其相互保險會社ガ區裁判所ノ本廳デ登記ヲシテ居リマスル時ニハ即チ其破産裁判所ニ名簿ガアリマスルカラ直グ取寄セルコトガ出來マス、ケレドモ、若シソコデ登記ヲシテ居リマセズデ、出張所、即チ登記所ニ於テ登記ヲシテ居ルモノデアリマスレバ、其社員名簿ト云フモノハ登記所ニ備ヘテアリマヘルカラソレデ登記所ノ方カラ其社員名簿ノ寫ヲ取りマシテ、ソレヲ今ノ定款表ノ認可申請書ニ附ケテ裁判所ニ差出ス、社員名簿ト定款ト附ケテサウシテ認可ノ申請ヲスルト云フコトニナルノデアリマス、ソコデ其申請ガアリマシタ時ニハ、之ヲ取調ベマスル必要ガアリマス、即チ認可スベキヤ否ヤト云フコト……ソコデ割當テラレマシタ社員等ヲ呼出シマス爲ニ期日ヲ定メテ之ヲ公告ス

ル、サウシテ一面ニ於キマシテ利害關係人ニソレヲ見セマス爲ニ期日ヨリ三日以前ニ裁判所ニソレヲ備ヘテ置ク、サウ云フコトニナリマシテ愈々期日ニナリマス、ト云フト、二百十二條ヲ以テ相互保險會社ノ責任者並ニ管財人及ビ監査委員ヲ呼出シテ其意見ヲ聽クコトニナリマス、ソレデ社員ハ其割當ニ不服デアリマスルナラバ、ソコデ以テ自分ノ異議ヲ述べルコトモ出來ル、ソコデ以テ調ベガ附キマシテ、サウシテ社員ノ異議ガ相當アルト裁判所デ見マシタ時ニハソレニ依ッテ計算表ヲ變ヘマス、其外調ベノ上計算表ヲ變ヘル必要ガアルト認メタ時ニ計算表ヲ變ヘテサウシテ認可ヲスルト云フコトニナルノデアリマス、ソレデ其認可ガアリマス、ト云フト、今度ハ認可書ト云フモノヲ裁判所ニ備ヘテ置イテ、サウシテ利害關係人ニソレヲ見セル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

○男爵(矢吹省三君) 二百八條ノ無限責任又ハ保證責任ノ相互保險會社ト云フノハ相互保險會社ニ二種類アルノデスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 左様デアリマス、相互保險會社ノ社員ノ全員ニ無限責任ヲ負フモノト、社員全員ガ保證責任ヲ負フモノト、ソレカラ保險料ノ限度トシテ責任ヲ負フモノト三種アリマス、ソコデ其ノ割當ノ必要ノアリマス、無限責任並ニ保險料意外ニ一定ノ金額ヲ以テ責任ヲ負フ者ト云フモノニ付マシテ、此損失負擔ト云フコトガアリマス、ルカラ、其負擔額ヲ割當テルト云フ必要ガ起ツテ參ル譯デアリマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 如何デスカ

○菅原通敬君 次ヲ願ヒマス

○藤田四郎君 此十三條ノ第二項ノ「直ニ言渡シタル」ト云フコトハドウ云フコトデスカ

○政府委員(池田寅二郎君) ソレハ取調ノ期日デ以テ調ベテ致シマシテ、サウシテ其日ニスツカリ決定ヲ致シマスルカ、然ラズンバ其日ニイツ言渡スト云フコトヲ極メマシテ、サウシテ其極メタ日ニ之ヲ言渡ス、其極メルニ一週間内ニ極メテ、決定ヲ言渡スベキ日取ヲ其日ニ直グ言渡シテ置ケト云フ意味デアリマス、期日ニ於テ言渡スコトヲ要ス、又ハ期日ニ於テ直チニ言渡シタル一週間内ノ期日ニ言渡スコトヲ要スト云フ意味デアリマス、是ハ訴訟法的ノ書方デアリマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 先ヲ願ヒマセウカ

○政府委員(池田寅二郎君) 此認可決定、ソレカラ又期日ヲ極メマスヤウナ決定ニ付マシテハ、抗告ヲ許サナイト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、唯此認可決定ト云フモノハ社員ノ全員ノ負擔ノ債務額ト云フモノヲ其處極メルコトニナリマスカラ、之ニ付テ特ニ異議ガアリマスル場合ニハ訴訟法ノ方法ヲ以テ之ヲ確定スル方ガ至當デアルト云フ理由カラシテ、ハ一例ヲ取りマススケレドモ、二百六十六條ニ參リマシテ、異議ガアリマスナラバ訴ヲ以テ其債務關係ヲ確定スルト云フコトニナツテ居リマス、ソレデ一應ハ抗告ヲ致サナイデ其儘執行スルト云フコトニナリマス、二百五十五條ヲ以テ其認可決定アリタル通りノ額ヲ拂込マシムルト云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ拂込ヲ任意ニ致シマセストキニハ強制執行ヲ爲ス必要ガアリマスカラ、此強制執行ハ一體判決ニ基イテ爲スノガ通常デアリマス、ケレドモ此場合ニハ特ニ認可決定ノ正本ニ執行文、執行文ト申シマス執行シテモ差支ナイト云フツノ命令書デアリマス、之ヲ附ケマシテ、ソレト債務ノ内容ハ計算表デ分ツテ居リマスカラ、計算表ヲ併セテ、是ダケデ以テ各社員ニ對シテ執行スルト云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ末項ハ強制執行ニ關スル手續等ニ色々ノ異議等ノ裁判ガアリマス、之ニ付テハ民事訴訟法ノ例ニ依ツテ之ヲ行フコトニナリマスカ、其管轄裁判所ハ二百四十五條ニ極メデアリマス、裁判所即チ破産裁判所、ソレカラ物ニ依リマシテハ地方裁判所、破産裁判所ヲ管轄スル地方裁判所ニ屬スル事ニ致シマシタ次第デアリマス、ソレデ二百六十六條方唯今申シマシタ計算表ヲ認可スル決定ニ付マシテ異議ガアル者ハ其決定言渡ノ日カラ一箇月内ニ其訴ヲ起ス、ソレハ監査員ヲ相手取ツテ計算表ニ異議ガアルト云フコトノ訴ヲ起スト云フコトニナツテ居リマス、不變期間ト云フ文字ガ出テ居ルノハ是ハ訴訟法上ノ言葉デアリマシテ、一口ニ申シマスレバ法律上ニテヤント極マツタ期間デアリマシテ、而モ裁判所ナリガ自由ニ動カス事ガ出來ナイ期間ト云フ意味デアリマス、マア天災事變等デ以テ其期間ニ爲スコトガ出來ナカッタ時ニハ特ニソレニ緩ミヲ付ルコトガ出來マスケレドモ、然ラズンバ事情ニ依ツテ變更ヲ許サナイト云フ意味ノ規定デアリマス、普通不變期間トカ上告期間ト云フモノハ所謂不變期間ト云フコトニナツテ居リマス、ソコデ此異議ノ訴ト云フモノハ無暗ニ之ヲ起スコトニナリマスレバ、徒デニ事件ヲ遷延スルコトニナリマスカラ、ソレデ二百六十二條ノ債權表ヲ裁判所デ調ベマシタ時ニ豫メ異議ヲ言ハナカッタガ是ハ自分ニ過失ナクシテ主張スルコトガ出來ナカッタト云フモノニ限ツテ訴ヲ提起スルコトガ出來ルト云フノデ、濫訴ノ弊ヲ防イダ譯デ

アリマス、ソコデ異議事件ト云フモノガ結局内容ニ於テ、破産イタシマシタ相互保險會社ニ對シテ損失ヲ負擔スル、計算表ノ指示スル所ニ從テ損失ヲ負擔スル義務ガ有ルカ無イカト云フコトヲ極メル意味ノ訴デアリマス、デアリマスカラ其訴ノ裁判管轄ト云フモノヲ茲ニ極メタノデアリマシテ、便宜上破産裁判所ニ於テ致シマススケレドモ、併ナガラ其金額ガ大キクナリマシテ地方裁判所ノ管轄ニ屬スルヤウナモノニ付マシテハ、ソレハ矢張地方裁判所ノ管轄ニ屬セシムルコトニナル、併シ當事者ガ別ニ破産裁判所デ、區裁判所デヤツテモ差支ナイト思フテ居リマスル場合ハ之ニ依ラシメテモ宜シイ、デアリマスカラ本案ノ辯論前、即チ事件ノ内容ニ入リマス前、裁判所デ手續ヲ進メマス前ニ、是ハ地方裁判所ニ移シテ貰ヒタイト云フ申立ガアリマスレバ、是ハ原則ニ依ツテ事件ヲ地方裁判所ニ移スノデアリマス、默テ其區裁判所デ當事者ガ事件ヲ進行スルコトニナリマスレバ、本來言ヘバ地方ニ屬スルコトデアリマスガ、當事者ノ好ミニ依ツテ區裁判所デアラスコトモ出來ル斯ウ云フ譯デアリマス、チヨット規定ハ反對ノ方カラ立テデアリマススケレドモ、其意味ハ斯ウ云フコトデアリマス、ソレデ地方裁判所ノ方ニ移シテ貰ヒタイト云フコトデアリマスレバ決定ヲ以テ此方ニ移スコトニナル、ソレニ對シテハ相當ノ抗告ノ途ヲ與ヘマシテ之ヲ極メルコトニナルノデアリマス、ソコデ是ガ移スト云フコトガ極メリマシタナラバ地方裁判所ノ方ニ事件ハ當然然ガルトコトニナリマシテ、ソレカラ先ハ地方裁判所ノ方デ事件ヲ進メルコトニナリマス、其訴訟入費ハ前ノ區裁判所ヘ出マシタ時カラノ訴訟入費ヲ一絡ニシテ、訴訟入費トシテ始末ヲスルト云フコトニナツテ居リマス、ソレデ此異議ト云フモノハ是ハ計算表認可カラ一月ノ間ニ出シマアヲウ、ソレヲ一々別ニ調ベマスコトニナリマス非常ニ複雑ヲ致シマスシ、又其結果、面白カラス事モアリマスカラソレハ一絡ニシテヤルト云フ意味カラシテ一月ノ異議ノ出得ル期間ト云フモノハ事件ヲ其儘ニ止メテ置キマシテ、手續ヲ進メナイト云フコトニナツテ居リマス、サウシテ出揃ヒマシタ所デ其異議ヲ一絡ニ併セマシテ、手續ヲ進メルト云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ前ニ申シマシタヤウニ此認可決定デ一應強制執行ガ出來ルト云フコトニナツテ居リマス、其後愈々異議ノ訴ガ出テ參リマス今度ハ其強制執行ヲ止メナケレバナラス、或ハ強制執行ノ處分ヲ取消サナケレバナラスコトガ起ツテ參リマスノデアリマス、是ハ民事訴訟法ニ於キマシテモ起ル事デアリマス、ソレニ付テノ規定ガ出來テ居リマス、即チ五百四十七條、五百四十八條ト云フモノハソレデアリマス、矢張同様ニ取扱フ爲ニ此規

定ニ依ラシムルト云フコトニナツテ居リマス、其異議ノ裁判ガ茲ニアリマスレバ、ソレハ同一會社ノ社員ノ全員ニ對シテ此裁判ト云フモノハ效力ヲ生ズルノデアリマス、一體ナラバ裁判ハ當事者ダケノ效力シカアルマセヌガ、是ハ其社員ノ全員ニ對シテ負擔額ヲ一般ニ定メル必要ガアリマス、其當事者間ノ必要デアリマスカラ關係社員全員ニ對シテ效力ヲ持タシムルト云フ規定デアリマス
委員長(伯爵松平賴壽君) 二百二十條マデ此中御質問ヲ願ヒタウゴザイマス
○藤田四郎君 次ヲ願ヒマス
○委員長(伯爵松平賴壽君) 宜シウゴザイマス
○藤田四郎君 宜シウゴザイマス
○委員長(伯爵松平賴壽君) ソレデハ二百二十一條
○政府委員(池田寅二郎君) 一旦計算表ガ出來マシテモ或ハ異議ノ訴デ其分ガ取レナクナツタカ或ハ又社員ガ無資力デアツテ其分ガ回收ガ出來ナイト云フヤウナ場合ニ於キマシタハ更ニ又之ヲ他ノ社員ニ負擔セシムル必要モアリマスカラ、其場合ニ更ニ計算表ヲ拵ヘルト云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ大體此財團ノ換價ガ一ト通り了レマシタ時ニハ愈々今度ハ最後ノ配當ヲスルコトニナルノデアリマス、是ハ後ニ配當ノ所デ能ク規定シテ居リマス、ソコニ至ツテ更ニ能ク御説明ヲ致スコトニシマス、最後ノ配當ハ裁判所ノ許可ヲ得ルコトニナツテ居ル、其最後ノ配當ノ許可ガアリマシタ時ニ、愈々最終ノ賦課ヲシナクテハナラヌト云フコトガ一面ニ於デアリマスカラ最終ノ計算表ヲ拵ヘルト云フコトニナルノガ當然ノコトデアラウト思ヒマス、手續トシテハ規定シテ居リマス、其最終計算表ヲ前ニ作リマシテモ、尙ホ色々ノ事由デ以テ十分ニ辨償サレナイト云フ事ガアリマスレバ更ニ幾度モ計算表ヲ作り直シテ、サウシテ所要ノ金額ヲ調達スルコトニナルノデアリマス、只此時ニハ仕方アリマセヌカラ脱退シタル社員、現在ハ社員デナイケレドモ保險業法七十一條デアリマシタカノ規定デ以テ社員ノ責任ハ脱退後二年間ハ續クト云フ事ニナツテ居リマス、愈々此最後ノ手段トシテ夫等ノ脱退社員ニモ其責任ノ限度内ニ於テ賦課ヲスル、サウシテ辨償ヲヤル、斯ウ云フ段取りヲシタ譯デアリマス、是ガ相互保險會社ニ付テノ損失賦課ノ方法デアリマス、之ヲ以テ財團ト云フコトヲ充實セシムル手續ヲスル、同様ナヤウナコトガ產業組合ニ於キマシテモ無限責任保證責任ノ產業組合ニモ又其通りノ方針、夫等ノコトガアリマス、又今後サウ云フモノガ出來ルコトニナリマスカラ、同様ナ趣旨ニ依リ矢張前ニ規定シマシタ十六條ノ規定ニ倣ヒマシテ此手續ヲ進メル、斯ウ云フ規定デアル、ソレカラ匿名組合契約ヲ商法ノ三百一一條ノ規定ニ依ツテ、營

間内ニ債權ノ額トソレカラ其債權ノ何ニ依テ發生シタモノデアルカト云フ債權ノ依ッテ生ズル意義ト、ソレカラ先取

届出期間ト云フモノハ前ニ極メテ届出マシタル其届出期間
内ニ届出タルモノヲ債權調査ノ期日ト云フモノデ調査スル

タ者ノ負擔ニスルト云フ必要ガアリマスカラ、此二百三十

四條ノ二項ノ規定ヲ準用シテ譯デアリマス、ソレカラ其特別期日ヲ今度定メマス云フ時ニハ矢張一般期日ヲ定メマシタノ同ジヤウナ趣旨ヲ以テ之ヲ公告ヲシマシテ、今度イツ幾日此分ヲ特別ニ調ベマスルコト云フ事ノ公告ヲ致シマス、サウシテ管財人ナリ、ソレカラ破産者ナリ、届出ヲシタ債權者ナリニ之ヲ送達スルコトニナルデアリマス、ソレカラ此公告送達ノコトハ今ノ債權調査ノ期日ノ變更、變更ト申シマス、ソレカラ債權調査ノ延期ト申シマス、其日ニナリマシテ今日ハ出来ナイカラ次ニ延バスト云フノヲ延期ト云フ居リマス、ソレカラ續行ト申シマス、其日ニヤリマシタケレドモ、仕事ガ済ミマセズ、後日ニ更ニ續イテヤルト云フコトヲ續行ト云フ居リマシテ、是ハ訴訟手續ノ規定ニアル文例デアリマシテ、辯論ノ延期續行ト云フ居リマス其場合ニモ矢張或ハ公告ヲシテ送達マス、併ナガラ是ハ其期日デ以テ皆出テ居リマス所デ言渡シタ時ニハ、公告送達等ハ要ラス云フ、至ク手續上ノ規定デアリマス、ソレカラ斯ウ云フ期日ヲ極メナリスル位ノコトデアリマス、別ニ不服ヲ被是レ言ハスベキモノデモナイカラ、不服ヲ申立テルコトガ出来ヌト云フノガ二百三十九條ノ規定デアリマス

○藤田四郎君 チョット伺ヒマス、二百三十七條ノ届出ヲ爲シタルト云フコトハ要リマセズスカ、斯ウ云フヤウニ日ヲ定メル時ニハ殆ド債權者ニ知ラサニヤナラス、届出ヲ爲シタルト書クト、今度出タ分ダケト云フコトニナル、

○政府委員(池田寅二郎君) 左様デアリマス、是ハ裁判所ニ願フ出シテ居ル所ノ債權者ニハ皆、送達スルト申スト一々知ラセルコトニナリマス

○藤田四郎君 ソレデスカラ届出ヲ爲シタルト云フコトガ無クテモ、破産債權者ノ皆ニ知ラセニヤナラス

○政府委員(池田寅二郎君) 願フ出シテ居リマセヌ者ハ場所ガ分リマセヌカラ、ソレニ對シマシテハ公告ヲスルコト云フコトニナツテ居リマス

○藤田四郎君 是ハ送達ヲ要スト云フ以上ハ分ッテ居ル、届出テ居ラヌ者ハ送達シヤウハナイノデスカラ、書カナクテモ破産債權者ニ皆知ラス譯ニナツテ居ル、贅文ノヤウニ思ハレル、斯フ云フモノガアル爲ニ分リ憎クナル

○政府委員(池田寅二郎君) 分ッテ居ルト仰セニナレバサウカモ知レマセヌガ、或ハ當然ノコトヲ書イタモノカト思フノデス

○藤田四郎君 只是アル爲ニ、後カラ届ケタモノノヤウニ見エハセヌカ、却ッテヤコシクナリハセヌカト思ヒマスガ、宜シウゴザイマス

○政府委員(池田寅二郎君) 二百四十條ハ其調査期日デ以テ調ベマシテ、サウシテ別ニ破産管財人ナリ、債權者等ニ異存ガナケレバ、其債權ノ額、並ニ其優先權ト云フモノガ、ソレデ以テ極マルト云フコトニナリマス、ソレカラ二項ハ少シ毛色ノ變タコトガ這入ッテ居ルノデアリマス、一體破産者ガ異議ヲ述ベルト云フコトハ、別ニ破産手續上、債權ヲ確定イタシマスルニ付テ必要ガナイノデアリマス、異議ヲ述ベテモ、述ベズシテモ、一項ニアリマスルヤウナ場合ニ、破産管財人ト破産債權者ガ、異議ガナケレバ極マルノデアリマス、トコロガ破産者ガ異議ヲ云フト、ドウ云フ效果ガアリマス、ト云フト、破産者モ此場合ニ、至ク異議ヲ述ベナイデ居ルト云フト、愈々破産手續ガ終ハリマシタ後ニ於キマシテハ、其確定イタシマシタ債權ニ基イテ、各債權者ハ、是ハ各個別ニ普通ノ手續ニ依ッテ、強制執行ガ出来ルコト云フコト、併シナガラ、ソレハ破産者ガ異議ヲ云フテ居レバ、其效力ハナイト云フコトニナリマス、此ナリデ極マッテ、破産ガ済ンダ後ニ至ッテ、今度愈々強制執行ヲ、ソレニ依ッテ受クルト云フコトハ、自分カラ欲シナコトヲ思ヘ、ソレヲ遮ル爲ニ、破産者ガ異議ヲ述ベルト云フコトガ起ッテ参リマス、寧ろ破産手續其モノハ別ニナツテ居ルノデアリマス、ソコデ破産者ガ異議ヲ述ベルト云フコトモ、其意味合ニ於テ實益ガアリマス、異議ヲ述ベマシタ時ニハ、矢張其異議ヲ述ベタ債權ニ付マシテ、丁度其當時訴訟ニナツテ居タコト云ヒマス、其原告デアリマス債權者ハ、一體ナラバ、管財人ガ相手ニナル管デアリマス債權者ハ、今申シマシタヤウナ意味合ノ、是ハ争デアリマススカ、ソコデ破産者ヲ相手ニシマシテ、一旦民事訴訟法ノ規定ニ依ッテ中斷シテ居タモノヲ、更ニ今度ハ進メテ参ルト云フ事ニナル、サウシテ破産者トノ間ニ裁判ヲ確定セシメテ置クト云フ實益モアリマス、サウスルト破産ガ終ハリマス、直グソレデ以テ強制執行ガ出来ル、斯ウ云フコトニナリマス、若シ此場合ニ受繼イデ極メテ置キマセスト、此儘ニシテ置キマセバ、破産ガ済ミマシテカラ、強制執行ヲシヤウトスレバ、矢張り更ニ訴ヘテ其後ニ至ッテ之ヲ續ケマシテ、サウシテ判決ヲ受ケネバナラヌト云フコトニナル次第デアリマス、ソレカラ其債權調査ニ依ッテ色々異議ガ出ルコトカ、或ハ異議ヲクテ確定スルモノモアリマセウ、其調査ノ結果ト云フモノハ一々債權表ニ記載スルコトニナリマス、又債權者ガ異議ヲ述ベマシタ時ニハ、其異議ヲモ記載スル、此記載スル所ノ意味合ガ、前ニ述ベマシタヤウナ意味合デアリマス、ソレガ二百四十一條ノ一項デアリマス、デ債權ニシテ確定シタルモノガアリマスレバ、其債權ノ證書ニ、其確定シタルト云フコトヲ記シテ、裁判所ノ

印ヲ捺ス、之ヲ以テ債權ガ愈々確定シタルト云フ證明ヲ得ル譯デアリマス、ソレカラ債權ガ調査デ以テ確定イタシマスレバ、債權表ニ之ヲ記載スル、サウスルト此債權表ニ記載シタト云フコトハ、破産債權者ノ全員ニ對シテ、恰モ判決ヲ受ケタト同一ノ效力ヲ生ズルコト云フコトニナルノデアリマス、デ破産債權者全員ニ對スルコト云フコトニナルノデアリマス、破産者ニ對スルコト云フ意味ハアリマセズ、ソコデ破産債權者全體ハ、其額ヲ争フコトハ出来ナイコト云フコトニナリマス、其金額デ以テ配當ヲ受ケルト云フコトニ極マル譯デアリマス、ソレカラ此調査ノ期日ニ出頭シナイ破産債權者モアリマス、其場合ニハ其人ノ債權ニ付テ、異議ガアリマシタ時ニハ、相當ノ手續ヲ執ル必要ガアリマスカラ、其債權者ニ裁判所ハ之ヲ知ラセネバナラヌト云フコトニナリマス、此知ラセト云フ方法ハ第二項デ規定シタルノデアリマス、第百十八條一項ノ規定ヲ準用スルコト云フコトハ、書類ヲ郵便ニシテ發送スル、斯ウ云フ意味合デアリマス、ソレカラ愈々破産債權者、若クハ管財人ガ異議ヲ述ベタト云フコトニナリマス、其債權ヲ確定スルノ必要ガアリマス、債權調査ダケデハ極マラナカッタ、デ訴ヲ起シテ之ヲ確定スル事ニナリマス、異議ヲ述ベタ者ニ對シテ訴ヲ起シテサウシテ債權ヲ確定スルコト云フ手續ヲ執ル譯デアリマス、デ一ツノ債權ニ對シテ、異議ヲ述ブル者ガ數人アッタ時ニハ、之ヲ一緒ニ訴ヘル、ソレカラ破産者モ其中ニ交ッテ居ルト云フコトモアリマス、其場合ニハ矢張ソレヲ含メル、デソレヲ手續ヲスル必要ガアリマスカラ、債權者ハ其債權ニ關スル、債權表ノ抄本ヲ與ヘネバナラヌ、其債權ニシテ、自分ノ債權ニ關スル部分ノ拔書、債權表ノ拔書ヲ債權者ニ渡シテ異議ノ訴訟ノ資料ニ供スルノデアリマス、此異議ノ債權確定ノ訴ト云フモノハ是ハ便宜上破産裁判所、即チ其區裁判所ヲ以テ争フ、併シ其訴ノ内容ニシテ、地方裁判所ノ權限ニ構成法上屬スルモノニ付マシテハ、其裁判所ノアル所ヲ管轄トシマス所ノ地方裁判所ニ之ヲ訴ヘル、デ成ルタケ場所ヲ限局シマシテ、サウシテ簡易ニ手續ヲ済マスト云フ方針デアリマス、是ガ二百四十五條デアリマス、トコロガ異議ヲ述ベタ所ノ債權ニ付マシテ、チョウド破産宣告ノ當時、前カラ訴訟ニナツテ居タ、誰カ債權者ガ、破産者……債務者ニ對シテ訴ヲ起シタルソレニ對シテ調査ニ掛ケテ見タ所ガ、他ノ破産債權者モ異議ヲ云タ、斯ウ云フ場合ニハ、今度ハ其訴訟ニナツテ居ル所ノ債權ヲ確定セシメヤウトスルナラバ、其異議者ヲ相手取ル、異議ヲ述ベタ其債權者ヲ被告ニシマシテ、サウシテ其訴訟ヲ續ケテ参ル、訴訟ノ當事者デアリマス破産者ガ、破産ノ宣告ヲ受ケタガ爲ニ、一應其訴訟ハ止マッテ居ル、今度其訴訟ヲ再ビ進行セシメマスニ付テハ、異議ヲ述

ベタモノヲ相手方トシテ、サウシテ其訴訟ノ引續ヲシテ、其間ニ債權ヲ確定セシムルノデアル、ソレカラ矢張り異議ヲ述ブル者ガ數人アリマスル時ニハ、ソレヲ共同被告人トスルト云フコトハ、矢張り二百四十四條第二項ノ規定ト同様デアリマス、ソレカラ此異議ノ訴訟ヲ矢張り二百四十一條ノ一項デ、債權表ニ記載シタルコト、即チ債權調査ノ結果ニ付テ、債權表ニ書イテアリマス、其事柄ニ付テノミ訴ヘノ範圍ヲ限ルノデアル、ト云フコトニシテ無暗ニ此爭ノ範圍ヲ徒ラニ廣メルコトヲ避ケテ譯デアリマス、所ガ既ニ債權ニ付テ判決ガ出テ居リマスルカ、或ハ其他マア判決ガ出來テ居ルト云フ場合ニハソレハモウ既ニ公ノ名義デ以テ債權ノアルコトヲ認メラレテ居ルモノデアリマスルカラ、之ヲ一片ノ異議デ以テ毀スト云フコトハ是ハ正當デナイト云フ所カラシマシテ、サウ云フ公ノ名義決マテ居ルモノニ付マシテハ恰モ其破産者ガ即チ此債務者ガ其訴訟ニ付テ訴訟手續法上其公ノ名義ヲ攻擊シ得ル所ノ手段ト同様ナ手段ヲ採テデナケレバ異議申立ガ出來ナイ、唯異議ヲ言フト云フコトハ許サナイ、デアリマスルカラ若シソレガ第一審ノ判決ガ濟ンデ居ル、又控訴ガ出來ルト云フコトニナリマズレバ兎モ角モ一審判決ヲ認メラレテ居ルノデアルカラソレヲ攻擊スル爲ニハ其債務者ハ控訴ガ出來ル、債務者ニ控訴ガ出來ルナラバ矢張り債權者ガ異議ヲ言ハウト思フナラバ控訴ノ手續ニ依ッテヤル、斯ウ云フコトデアリマス、ソレカラ一片ノ異議ニ依ッテ攻撃スルコトヲ許サズシテ其通りノ名義ヲ攻擊シ得ル債務者ガ攻撃シ得ル同様ノ名前デ以テ攻撃スルコトノミヲ許ス、斯ウ云フノデアリマス、其攻撃スル所ノ異議者ガ數人アルト云フ時ニハ共同シテ之ヲ起スト云フ意味デ以テ二百四十四條、二百四十六條ノ規定等ヲ此場合ニ準用シテ次第デアリマス、ソレカラ、二百四十九條ハ其異議ノ訴訟等ガ段々進行シマシテ愈々決マツタト云フ時ニハ其決マツタ訴訟ノ結果ト云フモノヲ破産管財人ナリ、或ハ債權者ノ申立ニ依リマシテ、裁判所ノ方デ其債權表ニ之ヲ書込シテ參照ト云フコトニナリマス、ソレカラ其債權ノ確定ニ關スル訴訟ト云フモノハ是ハ破産債權者ノ總員ノ間ノコトヲ決メルト云フ必要ガアリマスルカラソレデ其訴訟ニ付テ爲シテ裁判ト云フモノハ破産總員ニ對シテ其效力ヲ有スル總員ガ當事者間ノ訴訟ノ結果ニ服セネバナラスト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、ソレガ二百五十條デアリマス、其異議ノ訴ガ目的ヲ達シマシテサウシテ其債權者ノ債權ト云フモノヲ排斥シタルト云フコトニナリマスレバ結局ソレダケハ財團ガ支拂フヘキ所ノ債務ト云フモノハ減ツタ譯デアリマスカラ、即チ財團ノ利益ニ歸スル譯デアリマス、ダカラ其入費ト云フモノハ財團ノ一般ニ利益スルト云フ效

果ヲ生ジタ入費デアリマスカラ所謂外ノ破産債權等ヨリモ先キニ辨濟スルノ必要ガアル、前ニモアリマシタヤウニ財團債權者トシテ訴訟入費ト云フモノハ取レルト云フコトニ決メマシタノガ二百五十一條ノ規定デアリマス、デ其異議ノ訴訟ノ目的ノ價格、是ハ訴訟入費ニモ關係ヲ致シマスルシ、又裁判所ノ管轄ヲ決メルニモ關係ヲ致シマス、其價格ヲ如何様ニ見積ルカト云フコトハ一體訴訟破産デ以テ配當ヲ受ケルト云フノガ債權ヲ確定スル目的ニナツテ居ル、サウスルト云フト債權ノ名義額ガ必ズシモ取レルモノデハナイ、大體ノ見込デ以テ配當ヲ受ケル所ノ豫定額或ハ百圓ニ付テ五十圓トガ、三十圓トカ云フ見込デアリマスルナラバ其見込額ガ訴訟ニ依ッテ利益スル所ノモノデアリマスルカラ其額ヲ以テ、訴訟ノ高ラ決メルト云フコトニナリマス、所ガ其ハ普通ノ今マデノ民事訴訟ニ付テノ規定デアリマス公訴ニ附帶シテ居リマス所ノ私訴ト云フモノハ自カラ其ハ目的ガ違フデアリマスカラ、ソコデ何處マデモ債務者即チ被告人ト云フモノハ先ヅ當事者ニナツテ立ッベキモノデアルト云フコトガ勿論原則デアリマス、ソコデ之ヲ異議者タル所ノ刑事被告ノ宜シキアリマセヌカラ、仕舞ニアリマス其私訴ノ目的ノ損害賠償ニハ債權ニ付テ損害ヲ被ッテ居ル破産債權者ヲ呼ンデ他ノ債權者ト交ッテ對審スルト云フコトヲ許サスト云フコトニナリマス、ソレハ二百五十三條、ソレカラ二百五十四條ハ是ハ少シ變ッテ居リマス、三十八條ノ請求權ト云フノハ罰金、料、刑事訴訟ノ費用ノヤウナモノデアリマス、是等ハ法人又ハ相續財產ニ對シテ破産ノ宣告アツタキハ破産債權トシテ取レル事ニナツテ居ル、其取立スル所ノ關係ハ公同團體デ以テ其額ヲ裁判所ニ提出スルト云フコトニナリマス、是ハ尤モ債權調査ノ進行シタモノト同様ナ取扱デ、公ノ機關デソレハ決メテ審議シタモノデアリマスルカラ恰モ債權調査ガ一應濟ンダモノト同様ノ取扱ヒニ取計ラヒマス、ソレデ二百四十一條ノ第一項ハ債權調査ノ結果ヲ債權表ニ書ケト云フコトデ直ッテ債權表ニ提出アツタモノヲ書キ込ムト云フコトニナリマス、ソコデ其ノ公ノ機關決マツタモノデアリマスカラ、是モ當事者ノ一片ノ異議デ爭フト云フ事ハ宜シキアリマセヌカラ、二百五十四條ノ規定デ其ノ請求權ハ行政訴訟行政訴訟ヲ許シマスルヤウナモノデアリナラバ、矢張り其方法デ以テ破産管財人ガ破産者ニ代ッテ異議ヲ述ベナケレバナラスト云フコトニナリマス、ソコデ管財人ノ請求權ノ便利ト云フモノヲ直チニ知ラシムトル云フコトニナリマス、而シテ其ノ知ラセガアリマスレバ其私訴

ハ爭フベキ餘地アルモノデアルト云フモノナラバ、二百四十八條乃至五十條ノ規定デ管財人ト云フモノガ行政訴訟履行政訴訟手續ヲ履ミ破産者ノ爲シタ通りニ爲シ得ベキ手續ヲ履ンデ異議ヲ主張スルト云フコトニナリマス、ソレデ以テ其他ノ效果ノ額、原因等ヲ確定スルト云フ途ヲ取りマス

○加太邦憲君 異議ガアリマシテ訴訟ガアリマスルト、外ノ管財人ノ取扱フ手續ガ中止ニナリマス、詰リ訴訟ガ起ルト配當ノ出來スト云フヤウナ譯ニナツテ、幾ラカ手續ノ進行ハ出來ナイ氣味ニナリハセヌカト思フノデアリマスガ……

○政府委員(池田寅二郎君) 只今仰セノ事柄ハ配當ノ所ニ行ッテ相當ノ規定ガ出來テ居リマス、ソレヲ簡略ニ申シマスルト云フト、サウ云フ異議ノアリマスルモノニ付マシテハ配當表ヲ公告イタシマシタ後一週間バカリ日限ガアリマスカラ、其間ニ異議ノ訴訟ヲ起シタ、或ハ異議ノ訴訟ノ受續ヲシタト云フコトノ知セラ監察委員ノ方ニ爲サネバナラストコトニナリマス、其知セガアリマスルト云フト、配當表ニ兎モ角モ異議ガアリマシテモ載セマス、サウシテ其債權者ニ割當ツベキ配當額ハ一時預ケテ置クコトニナリマス、サウシテ其儘ドンノ進ンデ參リマシテ、愈々最後ノ配當デ之デ破産ハモウ終ヒニスルト云フ所マデ參リマシテ、マダ異議ノ訴訟ガ片付カスト云フ時ニハ已ムヲ得マセヌカラ、其時マデ待ッテ居テ、モウ打切りマス、配當カラ全ク其ノ時ニ至テ除外スル、デ普通ノ手續デ實行スルト云フコトニナル、コ、マデ待ツト云フコトニナツテ居リマス、ソレマデノ所ハ一時配當スベキ金額ヲ預ケマス、サウシテ進行スル手續ニナツテ居リマス

○加太邦憲君 配當ノ外ニ別ニ訴訟ノ爲ノ手續ヲ取ラネバナラスト云フコトハアリマセヌカ

○政府委員(池田寅二郎君) 別ニ其コトハ無いノデアリマ

○菅原通敬君 チョット疑ガ起リマシタガ、此二百五十四條ニ於テ「第三十八條第四號ニ掲グル請求權ニ付テハ國又ハ公共團體ハ遲滞ナク其ノ額及原因ヲ裁判所ニ提出スルコトヲ要ス」斯ウ云フコトニナツテ居リマスガ、三十八條ノ一號、二號、三號ノ所ニ付テハ別段ソレ等ノ規定ガナイ、ソレハ要スルニ一號、二號、三號、ト云フモノハ破産債權トハシナイ、デアルカラソレハ必要ガナイ、裁判所ニ於テスル必要ガナイト云フコトデアラウト思ヒマス、四號ニ付テ必要ガナイト云フノハ、今御説明ニ依ルト破産管財人トシテ先ニ之ヲ支拂フ辨濟シナケレバナラスト云フ必要ガアルカラダト、斯ウ云フヤウニ伺ッタノデアリマスガ、其通りデ宜シイノデアリマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 少シ私ノ説明ガ足ラヌカモ知

レマセスカラ、補テ置キマス、此三十八條ニ掲ゲテアリマスル所ノ一年乃至四年ハ、法人又ハ相續財産ニ對シテ破産ノ宣告ノ時ニハ、矢張悉ク破産ノ債權ニナルノデアリマス、ソコデ矢張皆配當ノ來ル譯デアリマス、此中四號ニ屬スルモノハ詰リ公ノ機關デ極メタモノデアアル、デアリマスルカラ債權調査ノ手順ヲ一段ダケ省イテ、債權調査ガ済ンダモノトシテ記入スルト云フコトニナリマス、一年乃至四年ト云フモノハ、利息、違約金等ハ普通ノ手續ニ依ッテ届出ラ致シマシテ調査ラシ、異議ガアリマスルナラバ訴テ起シテ確定シテ行ク、其手續ヲ取ラネバナラスト云フ、斯ウ意味合デ御話イタジマシタ

○菅原通敬君 サリナガラ一號カラ三號マデハ破産債權トセズトナテ居リマスカラ法人又ハ相續財産以外ノ場合ニ於テハ、サウスルトソレ等ノ届出ラシテ債權額ノ調査トカ何トカ云フ機會ガナイデアアリマセヌカ

○政府委員(池田寅二郎君) 矢張此二百五十四條ノ規定モ之ガ破産債權トナル場合ヲ前提ニシテ居ルコト考ヘマス、法人又ハ相續財産ノ破産ノ場合ヲ、此場合ニハ考ヘテ居ルト思ヒマス

○菅原通敬君 サウスルト債權者ハ財團債權トシテ不當ノモノヲ取ラレテ居ルカドウカ、審査スル權利ガ無イト云フコトニナリマス

○政府委員(池田寅二郎君) 破産管財人ガ債權ト見マスレバ隨時ニ拂フト云フコトニナリマス

○菅原通敬君 即チ債權者ハ干與スルコトガ出來ナイト云フコトニナリマスナ

○政府委員(池田寅二郎君) ソレハ監査委員ト債權者集會ト云フモノデ、其ヤリ口ハ監督ヲ致シテ居リマス

○菅原通敬君 其監督ハ出來マスカ、何處ニアリマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 監査委員ト云フ者ノ役目ハ管理人ガ無イ時ニ監督スルト云フコトニナッテ居リマス

○菅原通敬君 即チ其程度ニ於テ干與シテ居ルノダト云フコトデアリマスナ

○政府委員(池田寅二郎君) 左様デゴザイマス

○菅原通敬君 尙ホモウ一ツ第二百四十條ノ第二項デアリマスガ、破産宣告ノ當時、破産者ト債權者トノ間ニ訴訟ガ繁

屬シテ居ッタ、ソレヲ破産者ガ異議ヲ述ベタ場合ニ於テ債權者ハ破産者ヲ相手方トシテ之ヲ受繼グコトヲ得ト斯ウ書イテアル、受繼グト云フコトハ何カ、私ノ知ッテ居ル範圍ニ於テハ、相手方デモ變テ場合デナケレバ言ハヌ書葉デハナイカト思フノデアリマスガ、前ノ通り相手方モ債權者モ變ハラズニズツ裁判ヲ續行シテ行クト云フ場合ニ、矢張受繼グト云フノデアリマスナ

○政府委員(池田寅二郎君) 民事訴訟法ノ規定ニ依リマシテ、債務者ガ破産ノ宣告ヲ受ケマスト云フト、其訴訟ハ兎モ角モ中斷ヲスルト云フコトニナッテ居リマス、其中斷ヲシタモノヲ更ニ引起スト云フコトガ即チ受繼デアリマス

○菅原通敬君 結局續行スルコトガ出來ルト云フノデアリマスナ、遂行スルコトガ出來ルトデアリマスナ

○政府委員(池田寅二郎君) 結局左様ニナリマス、觀念ノ上ニ於テ中斷シテ居リマシテ、之ヲヤラナケレバナラヌカラ受繼ト云フ言葉ヲ用ヒタ譯デアリマス

○藤田四郎君 私ハチヨットシタコトデアリマスガ、二百四十五條デアリマスガ、債權確定ノ訴ハ破産裁判所ノ管轄ニ專屬スルコト極メタ、然レモ先刻ノ御説明デハ二百四十七條デアリマスガ、若シモ金額ガ上ノ裁判所ニ行カヌナラヌモノデアリマス、議論サヘ無カッタラバ、申立ガ無カッタナラバ矢張破産裁判所デアリト云フ特別ガ置イテアル、事柄ハ餘リ違ッテ事柄デモナイノデアリマスルカラシテ、若シ既ニ二百四十七條ノ如キ債權ノ問題デ上ノ裁判所ニ行ナケレバナラヌモノデ、辯論前ニ當事者ノ申立ガナケレバ構ハヌ、申立ガアッテ始メテ上ノ裁判所ニ行ク、今度ハ申立ガアッテ更ニ上ニ行クト云フ字句ハ何處ニアルノデアリマスナ

○政府委員(池田寅二郎君) 是ハ事件ノ性質ガ稍々異ナル所カラ此區別ヲシタモノト思ヒマス、詰リ此異議ノアル破産債權ヲ確定スルト云フ訴訟ハ全ク破産ノ訴訟デアリマス、ソレデ此通りニ二百四十五條ニ入レタモノト思ヒマス、二百四十七條ノ「事件」ト云フモノハ、實ハ破産ノモノデアリマセヌデ、財團ガ他カラ取立テベキ所ノ請求權ヲ有シテ居ル、ソレデ他カラソレヲ取立テベキ所ノ事項デアリマス、ソレデアリマスカラ破産者ガ他ノ人ニ貸シテ居ッタ、之ヲ取立テベキ所ト云フコト、性質ハ同様デアリマス、ソレデアリマスカラ破産ノ權利ニ致シマシテハ、稍々便宜ニ取扱フヤウニシテハアリマスケレドモ、一體民事訴訟法ノ規定ニ依リマシテ、當事者ガ地方裁判所ニ屬スル事件デモ、區裁判所ニ持出シテモ宜シイト云フモノナラバ、ソレニ廻ハシテ宜イト云フコトガ原則ニナッテ居ル、純粹ノ破産事件デナイカラシテ、先ヅ此位ノ程度ノ自由ハ認メテ置イテ宜シイト云

フノガ、二百四十七條ノ規定デアラウト思ヒマス、異議ノアル債權ヲ、當事者間ニ於テ確定スルト云フノガ、純然タル○事件デアリマス、純粹ノ動カス所ノ專屬管轄ト云フコトニ決メタモノト思ヒマス

○菅原通敬君 サッキ御話ノ財團債權ヲ調査スル爲ニ、破産管財人若クハ破産管理人ガ干與スルノダト云フノハ、ドノ邊ノ規定ニアルノデアリマスナ、私ニハチヨット見付カラヌノデスガ……

○政府委員(池田寅二郎君) 財團債權ト云フノハ、財團債權ノ章デ管財人ガ隨時之ヲ辨濟シテ行クコトニナッテ居リマス、四十九條ハ、サウスルト云フモノデアリマス、モウ隨時ニ拂フトハ、是ハ實ハ破産デハナイノデアリマス、此手續ト云フモノハ……破産債權ニ配當スルト云フノハ、破産ノ手續デアリマスケレドモ、仕事ヲスルタメニ、例ヘバ買物ヲシタトカ、或ハ人ヲ雇ッテ給料ヲ出スト云フノハ、是ハ普通ノ破産者ニアラザル者ガヤルノト、何等違ハナイ、ソレデスカラ異議ガ出テ、而シテ普通ノ裁判ニナル、斯ウ云フコトニナルモノデアリマス、其異議ヲ申サセナク爲ニ、管財人ナリ、中間人ガ、一般的ノ監督ヲシテ居ル譯デアリマス

○藤田四郎君 續イテドウゾ……

○委員長(伯爵松平賴壽君) 第八章配當

○政府委員(池田寅二郎君) 第八章ハ此ノ配當ノ手續ヲ定メタモノデアリマス、配當ハ此案ニ依リマス、財團ヲ段々換價致シマシテ、適當ノ金高ガ玆ニ出來マスレバ、隨時ニ配當ヲシテ行クト云フコトニナッテ居リマス、幾回モ配當ヲ續ケテ行クト云フ主義ニ、出來上ッテ居リマス、ソレカラ愈々、オシマヒノ配當ヲ最後ノ配當ト申シマス、最後ノ配當ヲシテモ、偶然金ガ剩ッテ來タト云フ場合ニハ、更ニ追加ノ配當ヲシテ行ク、斯ウ云フ二段ノ配當ニナッテ居ル、二百五十六條ハ、今申シマシタ主義ヲ現ハシマシタモノデアリマス、

「配當スルニ適當ナル金錢アリト認ムル毎ニ遲滞ナク配當ヲ爲スコトヲ要ス」、ソレデカラ金ガ相當マリア次第二、片ッ端ヨリ配當シテ行クト云フヤリ方デアリマス、ソレデ再配當ヲスルト云フコトハ大切ナ事デアリマスカラ、監査委員ノ同意ヲ得、又監査委員ノ出來テ居ラスモノハ裁判所ノ許可ヲ受ケテ配當ヲスルト云フノガ二百五十七條ノ規定デアリマス、ソレカラ配當ノ順位表ハ二百五十八條ニ出來テ居ヘキ債權者ノ氏名及住所、配當ニ加フヘキ債權ノ額、ソレト、ソレニ對シテ「配當スルコトヲ得ヘキ金額」是ダケノモノノ配當スルト云フ義務ノ規定デナクシテ、配當ノ出來ルダケノ金高ト云フモノヲ書キアラハシタノデアリマス、其配當ノ書キアラハシデハ、優先權ヲ以テ區別シテ居リ

マシテ、優先権ハ順位ニ從テ決メテ、其順位ノ先キニアル者ヨリ配當スルコト云フコトニナルノデアリマス、ソコデ配當表ニ付テハ當業者ト異議ガアルコトモアリマスカラ、ソレデ先ヅ裁判所ニソレヲ出シマシテ、サウシテ利害關係者ニ見セルト云フコトニナツテ居リマス、之ガ二百五十九條デアリマス、ソレデ、ソレト同時ニ、配當ニ加ハルベキ債權ノ總額、ソレカラ配當スル事ヲ得ベキ金高ト云フモノヲ、之ヲ一口ニスル譯デアリマスガ、之ヲ一面ニ於テ公告スル……一般ノ債權者ニ知ラセシ、ソコデ異議ノアルノ……今マデ述ベマシタ異議ノアル所ノ債權ニ付マシテハ、配當表ガ公告サレマシタ、後一週間内ニ債權ヲ確定セシムル爲ニ訴ヲ起シタ、或ニ既ニ起テ居ル訴ヲ承認イダト云フ證明ヲ管財人ノ方ニシテ行キマセケレバ、其時ノ配當カラ除ク、其時ノ配當表ニハ掲ゲナイト云フコトデアリマス、ソレカラ二百六十一條、ソレカラ擔保權ト云フモノヲ持ツテ居リマス者ニ付テハ、其擔保權ノ處分スレバ……擔保權ノ處分ニ着手シテ、サウシテ其擔保權ノ處分スレバ、マダ幾ラダケ債權ガ殘ルト云フ事ヲ、管財人ノ方ニ申出デテ其證明ヲ附シテ來ナケレバ、矢張是モ其時ノ配當表ニ掲ゲナイト云フ事ニナルノデアリマス、ソレデサウ云フ手順デ一々配當表ト云フモノヲ拵ヘルノデアリマスガ、其配當表ト云フモノハマダ之ヲ變更スベキ場合ガアリマス、其事ヲ二百六十三條ニ規定シテアリマス、ソレデ、先ヅ第一ニ債權表ヲ更ヘルベキ事由ガ前ニアリマシタ二百六十一條、二百六十二條……ソレカラ、除斥期間、即チ配當ノ公告ニナツテカラ二週間内ニ配當表ヲ更ヘナケレバナラヌ事由ガ茲ニ起ツテ來タ、ト申シマスハ例ヘバ異議ノアル債權ニ付テ異議ガ落着ラシタ所ガ、其債權ハ無イト云フコトニ決マツタト云フコトニナリマススレバ、矢張債權表ト云フモノヲ更ヘナケレバナラヌト云フコトニナリマス、ソレガ丁度二週間内ニ復配當表ヲ更ヘ得ル、二週間内ニ其事ガ起ツテ來マスレバ、ソレニ基テ、直チニ配當表ヲ更ヘテ行ク、ソレカラ第二號ハ今申シマシタ二百六十一條、二百六十二條ノ規定デ、即チ二週間内ニ斯ウ云フ訴ヲ起シタ、或ハ擔保權ノ實行ニ着手シタガ、是ダケ足リナイト云フコトガ管財人ノ方ニ通知ガナツタト云フ時ニハ、矢張配當表ニ其分ダケ除ケテ行クト云フノデ、配當表ガ更ハツテ來マス第三ハ、更ニヤリマシテ、其二週間内ニ擔保權ト云フモノハ取ツテモ、自分ニ執ツテ實用ガナイ、實益ガナイ、直チニ擔保權ノ方ハ要ラナイト云フ意思ヲ發表スル、擔保權ヲ得タ所ガ、現ニ是ダケシカナカッタ、マダ足リナイ額ガ是ダケアルト云フコトヲ證明シテ行キマス時ハ、除斥期間内ナラバ、配當表ヲ更ヘマシテ、進ンデ行クト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ配當表ヲ茲ニ出シマシテ

カラ二週間内ト云フモノハ茲ニ止メテ置キマス、其二週間經過シマスレバ經過ノ後更ニ一週間ノ餘裕ヲ見マシテ、其間ニ債權者ガ配當表ニ異議ガアルナラバソレハ異議ヲ申立テテ宜シイ、サウスルト其裁判所ハソレニ基テ配當表ヲ然レバ更正スルナラバ更正シマスシ、サウシテ更正シタ場合ニハ之ヲ裁判所ニ備ヘテ置イテ關係人ニ之ヲ見セルト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ二百六十五條ハ愈々此配當表ノ異議ノ期間モ濟ミ、異議モ出ナカッタ、或ハ出タケレドモガ其異議ハチヤント決マツタ、落着シタト云ツテ、愈々是デ配當シテモ差支ナイト云フコトニナリマシタトキニハ、遲滞ナク今度ハ配當スル所ノ率ヲ決メマシテ、サウシテ其配當ニ加フベキ各債權者ニ之ヲ通知スルト云フコトニナリマス、是ハ今ノ配當スベキ金高ト云フモノハ、配當表ニハ載ツテ居リマス、是ダケハ必ズ配當スルコト云フ意味合デハアリマセヌ、是ダケハ配當シテモ宜カラウト云フ見込額ヲ茲ニ書キマスケレドモ、愈々此配當ノ率ヲ決メマスマデノ間ニハ相當ノ日ガアリマスカラ、中ニイロ／＼入費ガ掛カッタカ、財團債權ト云フモノガ出來タカ云フコトニナルノデ、幾分減サナクテハナラヌ、或ハ今後ノ情勢ニ依リ幾分ハ引イテ置ク方ガ宜イト云フコトニナリマススレバ、其配當表ニ書キマシタ金高ノ内端ニ積ルト云フコトモ茲ニ載ツテ參リマス、前ニ配當表ニ書キマシタモノヨリ多少殘リテ參リマス、ソレヨリ多ク配當スルコト云フコトハ出來マセヌガ、配當表ニ載ツタモノノ内端ナラバ是ダケ配當スルコトガ出來ルト云フコトニナリマス、サウシテ愈々率ヲ決メマシテ、百圓ニ付テ幾ラナラ百圓ニ付テ幾ラ配當スルコトガ出來ルト云フコトヲ決メマス、ソレカラ配當ノ率ヲ決メルニ付テモ監査委員ノ同意ヲ得ルコトガ必要デアルト云フコトニナリマス、ソレカラ解除條件附債權ヲ有スル者、是ハ其條件ガ消滅シマス、權利ガ無クナルノデアリマス、今茲ニ配當ヲ受ケ終ハリマシテ、サウシテ後ニ權利ガ無クナルト云フコトニナリマスレバ債權者ハ利益ヲスル、財團ガ損ヲスルト云フコトニナルカラ、其爲ニ相當ノ擔保ヲ財團ニ供シテデナケレバ配當ガ受ケラレヌ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、ソレガ二百六十六條、ソレカラ強制和議ノ提供ガアル、是ハ後ノ章ニ出テ參リマス、五ニ讓歩シテ此破産ノ關係ト云フモノヲ決濟シヤウト云フ事ニナルト云フ時ニハ、配當スルト云フコトハ却テ無駄デアリマスカラ、其配當ノ中止ヲ命ズルコトガ出來ルコトニナツテ居ル、併ナガラモウ既ニ配當ノ率マデモ決メテ此通知ヲ出シテマツタ以上ハ、配當ヲ受クベキ者ノ債權……配當ニ對スル債權ト云フモノガ確定シテシマヒマス事ニナリマスカラ、ソコマデ進ンダ時ニハ配當ダケハヤル、サウシテ其後ノ配當ヲヤラナイト云フコト

ニナリマス、ソレカラ二百六十八條ハ其跡始末ノ規定デ、一旦配當ノ中止ハ命ジタケレドモガ、和議ガイケナカッタト云フ時ニ再ビ配當ヲ進メル必要ガアリマスカラ、ソレデ配當手續ヲ續行スルコトヲ命ズルコトニナル譯デアリマス、此時ニハ一般ニ公告ヲスル、二百六十九條ハ一體此債務ヲ支拂フノデアリマスカラ、原則ニ依リマスレバ債務者ノ方カラ債權者ノ方ニ持ツテ行ツテ支拂フノガ當リ前デアリマスケレドモ此破産手續ト云フモノハサウ云フ譯ノモノデハアリマセヌカラ、ソレデ總テノ債權者ハ破産管財人ノ所ニ取リニ行ツテ配當ヲ受クルト云フコトデ「破産管財人ニ就キ配當ヲ受クルコトヲ要ス」ト書イタ譯デアリマス、ソレデ配當ヲシマスレバ債權表ニ之ヲ書キ、債權ノ證書ニモ金額ヲ書入レテ貰フト云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ二百六十一條、二百六十二條ト云フノガ、是ガ今ノ異議ノアル債權ニ付テ訴ヲ起シタト云フコトノ知ラセラスベキデアアルノニ知ラセラシカカッタ、擔保權ヲ持ツテ居ルナラバ擔保權ノ實行ニ著手シテ尙ホ餘リノアル……取レナイ部分ノアルト云フノヲ知ラセラシカケレバナラヌノニ知ラセラシカカッタト云フ爲ニ、其期ノ配當ヨリ除斥セラレタ者ガ、段々配當ヲ續ケテ行キマスカラシテ、次期ノ配當ノ期間内ニ、次期ノ配當ノ公告ガアツテ二週間マデノ間ニ、其證明スルコトヲ致シマシタ時ニハ、其時ニハ今ノ配當ニ拔ケマシタカラシテ、其時ノ配當ニ付マシテハ、他ノ同順位ノ債權者ヨリモ之ヲ先キニ廻ハシテ配當ヲ得セシメルト云フノハ、成ルタケ配當ガ續イテ居リマスル限リハ、各債權者ノ間ニ配當ノ均衡ヲ得セシメ、一時ノ手違ノ爲ニ配當額ヲ少ナク受クルト云フコトニナラナイヤウニシタイト云フノガ二百七十條ノ規定スル趣旨デアリマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 如何デセウカ、モウ十二時少シ前ニナリマシタカラコデ一旦切リマシテ、午後ニ御質問ヲドウゾ願ヒマス

○藤田四郎君 一時半位デ宜シウゴザイマスカ

○委員長(伯爵松平賴壽君) 一時半位デ宜シウゴザイマス

〔午前十一時四十六分休憩〕

〔午後一時三十八分開會〕

○副委員長(河村謙三郎君) 委員長ガ三十分程遅レルカラ代テヤツテ吳レト云フコトデアリマス、私ガ代ハツテ開會イタシマス、午前ニ引續イテ御説明ヲ願ヒマスガ二百七十一條以下……

○政府委員(池田寅二郎君) 矢張配當手續ノ引續キニナツテ居ルノデアリマスガ、破産債權デアリマシテ或ハ配當セネバナラスコトニナルベキモノデハアルケレドモ、今ソレ

ニ對シテ配當スベキ時期ニ達シテ居ナイト云フモノニ付マシテ、之ヲ一時寄託シテ置クト云フコトノ意味ガ二百七十一條ニ規定セラレテ居リマス、即チ第一號ハ矢張此破産債權ニ付テ異議ガアリマシテソレニ付テ確定ノ爲メニ訴ヲ今實行シテ居ルト云フモノニ付マシテハ、今配當ガ出來マセヌカラ是ノ爲メニ配當スベキモノヲ供託シテ置ク第二號モ同様ノモノデアリマシテ、是ハ訴訟訴願等ガ繼續シテ居テ未ダ事ガ極マラナイト云フモノニ付マシテハ矢張供託ヲ致シマス、ソレカラ二百六十二條ノ規定ニ依リマシテ、別除權ヲ行使シテモ尙ホ餘リノアルト云フ債權額ノ疏明ガアリマシタ時ニハ矢張之モ供託ヲシテ置ク、ソレカラ第四號ハ停止條件附債權將來ノ請求權デ、マダ其權利ガ確的ニ發生シテ居ナイモノ、之モ供託ヲシテ置ク譯デアリマス、解除條件附ノ債權ヲ持ッテ居リマスモノハ、直チニ配當ヲ受ケマシテモ後ニ權利ガ消滅スル事ニアリマス不當ノ所得ヲスルコトニナリマスカラ、豫メ擔保ヲ供セバナラヌト云フコトニ二百六十六條ニ規定シテアリマス、此擔保ヲ供セナカク場合ニハ確的ノ配當ヲスル譯ニ行キマセヌカラ、矢張此分ニ付テモ供託ヲスルト云フノガ二百七十一條ノ規定デアリマス、イヤ供託ト云フモノデアリマセヌ、寄託ト云フ文字ニナッテ居リマス、ソレカラ之デ一時差支ノモノハ供託ヲ致シマシテサウシテ進ムノデアリマス、愈々最終ノ配當ヲ致スコトニナリマスレバ、是ハ一層手續ヲ町重ニシマス爲メ、監査委員ガ同意シマシテモ尙ホ其上ニ裁判所ノ許可ヲ受ケバナラヌコトニナッテ居リマス、之ガ二百七十二條ノ規定デアリマス、ソコデ更ニ最終配當ノ手續ノ規定デアリマスガ、稍々手續ヲ町重ニ致シマシテ、此最終ノ配當ノ場合ニ除斥期間ト云フモノハ、普通ナラバ二週間デアッタモノヲ二週間以上一月内デ、是ハ裁判所ガ適宜ニ極メルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、少シ打切ル期間ヲ長ク置イタ譯デアリマス、ソレカラ愈々配當表ニ對スル異議モ落着シシテ、配當ヲナシ得ベキ時期ニナリマシタナラバ、早速管財人ハ債權者ニ、今度ハ配當スベキ金高ヲ極メマシテ、サウシテ之ヲ通知スルコトニナルノデアリマス、是ハマア最終ノ在金ヲ割當テ、配當スルト云フコトニナル譯デアリマス、ソレカラ其最終ノ配當ヲ致シマス際ニモ、マダ此停止條件附債權ダトカ或ハ將來ノ請求權ト云フヤウナモノガ、結局ドウモ其配當ノ期間マデニ實行シ得ベキコトニナラナカク、停止條件ガ成就セズト云フヤウナコトデアリマスレバ、是ハ致方ガアリマセヌカラ、其配當關係カラ之ヲ全ク離レマシテ、サウシテ破産手續ノ外ニ之ヲ置クト云フコトニナルノデアリマシテ、後ハ結局各個ノ關係ニ於テ權利ヲ行使スルト云フコトニナル譯デアリマス、ソレカラ今度ハ解除

條件附ノ權利デアリマス、是ハ權利ハ既ニアルノデアリマス、之ヲ消滅スルカモ知レナイト云フ意味ノ條件ガ附イテ居ル權利デアリマス、ソレデ最後ノ配當ニ關スル除斥期間内ニ其解除條件ガ成就シナカク、依然トシテ權利ト云フモノガアルト云フコトナリマスレバ、之モ此時ヲ對シマシテ一旦擔保ヲ供シテ配當ヲ受取ッタモノニ付テハ、其擔保ト云フモノハ其效力ヲ失フ、即チ其擔保ハ之ヲ戻シ、ソレカラ二百七十一條ノ五號ニ依ッテ、此モノノ爲メ管財人ガ預ケテ居リマス金額ト云フモノハ、是ハモウ其時ニハ確的ニ債權者ニ拂フ、ソレカラ百一條ニ依ッテ供シタル擔保、若クハ寄託シタル金額ト申シマスルト、是ハ相殺ヲ致シマスルニ付テ此規定ガ百一條ニ定メテアルノデアリマス、是モ此時ヲ對シマシテ此擔保ト云フモノヲ拂戻ス、寄託シタル金額モ亦拂戻スト云フコトデアリ、解除條件附ノ權利ニ付テハ、矢張時期デ以テ打切テ、權利ハアルモノトシテノ決算ヲ終了スルト云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ二百七十七條ハ別權ニ關スル規定デアリマス、別除權ノ方ハ矢張其擔保權ヲ實行シマシテ、サウシテ結局辦済ヲ得ナケレバ部分ダケニ付テ破産債權者トシテ配當ヲ受ケルコトニナリマス、然ラズシテ擔保權ヲスツカリ止メテ仕舞フ、サウシテ別除權ヲ拋棄シタル金額ニ付テ破産債權者トシテ權利ヲ行フカ、ドチラカニシマセヌ以上ハ、イツマデモ配當ノ確ニスルコトハ出來ナイ、是ハ最後ノ配當ニ關スル除斥期間マデニ出來ナカク、ト云フコトニナリマスレバ、已ムヲ得ズ配當ヨリ之ヲ除斥スルト云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ其配當ヨリ除斥セラレマシタ爲メ其モノニ對シテ割當テアッタ金高ト云フモノハ、財團ノ方ニ餘ッテ參リマスルカラ、之ヲ他ノ債權者ニ配當スルコトニナルノデアリマス、是ガ二百七十八條ノ規定デアリマス、第百條ニ依ッテ寄託シタル金高モ矢張同様デアリマシテ、停止條件附ノ債權ヲ有スル者ガ自分ノ債權ヲ辦済スル場合ニハ、後ニ其停止條件附債權ガ成就シタ時ニハ、其モノヲ以テ相殺ニ供スルト云フ爲メ、自分ノ辦済シタル額ヲ預ケテ置イテ貰フト云フ請求ガ出來タノデアリマス、ソレヲ預ケテアッタデスレドモ、自分ノ根本タル停止條件ガ成就シナカク、ト云フコトデアリマスレバ、矢張り之モ配當ヨリ除斥サレテ寄託シタル金高ト云フモノハ、浮イテ參ルノデアリマス、之モ他ノ債權者ニ分ケテヤルト云フコトニナルノデアリマス、ソコデ第二百七十九條ハ愈々其最後ノ配當額ノ通知ヲ出シマスル前ニ、又新ニ配當シテモ宜シク金方出來テ參リマシタ時ニ、ソレマデナラバ直チニ其ノ配當表ヲ書き變ヘマシテ、サウシテ配當ヲスルト云フコトニナルノデアリマス、ソレガ二百七十九條、ソレカラ愈々最終ノ手續トシテ、此二

百七十一條一號又ハ二號、即チ訴訟ノマダ落着シナイモノ、之ニ割當テテ居リマシタ所ノ配當額ソレカラ是ハ前ノ配當期マデノヤウデアリマスルガ、最後ノ配當期ニ當ッテ矢張マダ訴訟訴願等ガ落着シナイデ、ソレニ割當ツベキ所ノ金ト云フモノガ此所ニアリ、其額モ合セテ之ヲ今度ハ供託ノ手續ヲ取リマシテ即チ管財人ノ手ヲスツカリ離レシマウト云フ云ニナルノデアリマス、只今迄ノ所デハ矢張供託ト云フコトニナリマセヌデ寄託ト云フコトニナッテ居リマス、手續ハ矢張同様デアリマスレドモ供託トナリマスレバ破産管財人ト云フ者ハ自分ノ義務ヲ盡シタモノデアリ、即チ之デ其關係ヲ離レルト云フ意味デ供託、或ハ辦済供託ト云フ意味デ以テ供託ト云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ矢張二百八十條ノ第三號、是ハ債權者ニ配當スベキ額ガ決マリマシタケレドモ之ヲ取りニ來ナイト云フ場合ニハ矢張供託トシマシテ管財人ハ其義務ヲ免レルト云フ手續ヲ取ル譯デアリマス、ソコデ愈々之デ以テ供託ノ手續ヲ終ハリマスルト云フコト今度ハ計算ノ報告ヲスル必要ガアリマスルカラ債權者集會ト云フモノヲ召集シマシテソレデ以テ計算報告ヲ致スノデアリマス、所ガイロ、財團ノ中デ或ハドウシテモ、モウ無資力者ニ貸シテ居ルノデ、取立ガ餘程困難デアルト云フヤウナ者モ出來テ參リマセウ、サウ云フ者ハ遂ニ又換價シナイデ矢張財産トシテ殘ッテ居ルヤウナモノモ幾分カアルコトモアル、サウ云フモノニ付テ債權者集會デ處分ノ方法ヲ決メルト云フコトニナルノデアリマス、デ或ハソレ等ノモノガ致方ガナイカラ債務者ノ即チ破産者ノ自由處分ニ任セルトカ或ハ他ニ誰カ見込アル者ガ之ヲ自分ノ配當ノ方ニ引當テテ財物返済ト云フヤウナモノニシテスルト云フヤウナコトモアリマセウシ、結局其殘リノ財産ニ付テノ決定ヲ致スト云フノガ二百八十一條ノ規定デアリマス、ソコデ其計算報告モ終リマシテ債權者集會ト云フモノガオシマイニナリマスレバ裁判所ハソレニ基イテ裁判終結ト云フコトニ致シマシテ之ハ公告スルト云フコトニナルノデアリマス、ソレカラソレデ一應即チ配當ハ終ハルコトニナリマスガ、配當額ノ通知ヲ出シマシタ後ニ更ニ又配當ニ致シテ宜シイ財産ガ出テ參ルコトモアリマス、其場合ニ追加配當ト云フ手續ヲ致スコトモアリマス、ソレガ二百八十三條ノ規定デアリマス、追加配當ノ手續ハ裁判所ノ許可ヲ得テヤルト云フコトニナリマス、是ハ裁判終結決定ヲシマシタ場合ニ財産手續ノ場合ニスルト云フコトニナリマス、ソレデ追加配當ノ許可ガアリマスレバ、ソレニ依ッテ決メマシテサウシテ之ヲ公表スル、サウシテ債權者等ニ對シテ之ヲ通知スルト云フコトニナルノデアリマス、ソコデ其配當ニハ便宜上モウ是ハ追加的ノモノデアリマスカラ、最

後ノ配當ノ爲ニ作リマシタ配當表ニ基イテサウシテソレヲ利用シテ割當テラスルト云フ事ニナルノデアリマス、ソレガ二百八十四條、ソレデ矢張其追加配當ガ濟ミマシタナラフバ計算報告書ヲ作ッテ裁判所ニ出シテ認可ヲ得ルト云フノガ二百八十四條ノ規定デアリマス、ソレデ二百八十六條ハ少シ變フタ規定デアリマス、此最終ノ配當ノ前ニ爲シマスノヲ便宜上中間配當、初メノ配當カラ最終迄ニ行ク配當最終ノガ最終配當、又其後ノヲ追加配當ト云ッテ居リマスガ、其中間ノ配當ニ於テハ其配當率ヲ決メテヤルコトニナル、最終ノ配當ノ場合、配當ノ額ハ通知スルコトニナッテ居リマス、各配當スル時期々々ニ付テ其配當率ヲ通知ヲ出シテシマル迄ノ間ニ此管財人ニイロク「財團債權者等ガ請求シテ參ル」ト云フコトガアリマスレバ、其率ヲ通知ヲ出シマス前ニモ其隨時ニ支拂ヒヲシマシテ、サウシテ支拂ヒガ多クナツ場合ニ率ヲ輕減シマシテ、サウシテ其通知ヲ出スト云フコトニナリマス、最後ノ配當額ヲ通知ヲ出シマス時モ同ジ事デデアリマス、ソレ迄ノ間ニ入費以外ノモノガ出テ來タト云フ時ニハソレヲ差引キマシテ配當額ヲ輕減シテソレヲ通知スル事ニナリマス、所ガ通知ヲ出シテシマッタ後ニサウ云フ財團債權者、即チ破產手續ノ爲ノモノト又買ッテ買物ヲシタモノノ取立方來タ、通知ヲ出シテシマッタ後ニソレガ參リマシタ時ニハ又其率ヲ變更スル、配當額ヲ變更スルト云フコトニナリマスレバ頗ル錯雜シマスルカラ、通知ヲシテシマッタ以上其配當率、配當額ト云フモノハ變ヘナイデ其儘デ以テ配當ヲスル、ソレデアリマスカラ其爲ニ財團債權者トカ、其各時期々々ニ於キマシテ其請求金額ダケシカ取レナイヤウナ事ガアリマシテモソレハ致方ガナイ、デ中間配當ノ時期デアリマスレバ次ノ配當ノ時期ヲ以テソレガ取レルト云フコトニナリマスケレドモ、最終ノ配當ヲ出シマシタ後ニナリマシテ或ハ金ガ無クナツタガ爲ニ其財團カラハ取レナイト云フコトモアルガラウト思ヒマス、是ハ手續ノ便宜上通知ヲ發スル前迄ニ知レタモノダケニ限ッテ支拂ヒヲスル其後ノモノハ其時期ニ於テ支拂ヲシナイデ後廻シニスルト云フノガ二百八十六條ノ規定デアリマス、ソレカラ二百八十七條ハ二百四十條ノ二項ト照應シテ居ルノデアリマス、確定債權即チ債權者集會デ以テ決マリマシタモノ、ソレカラ異議ガアリマシテモ其異議ヲ排斥セラレタルガ爲ニソレガ決マリマシタモノハ破產者ガ債權調査ノ期日ニ於テ其債權ニ異議ヲ述ベテ參ライ以上ハ其債權表ノ記載ト云フモノハ債權者ニ對シテモ確定判決ノ效力ヲ生ズルト云フコトニナッテ居リマス、ソレデアリマスカラ破產者ガ異議ヲ述ベテ來マズレバ其債權表ト云フモノハ決マリシテモソレハ他ノ債權者相互ノ間ニ於テ確定判決ト同様ニ效力ヲ生ズルト云フ

ケルコトガ出来ルト云フコトニナッテ居ル、デアリマスカラ
サウ云フ利害ノ關係ノ薄イ者ヲ入レテハ却テ宜クナ
云フ所カラ、是等ノ者ハ除外スル事ニナッテ居リマス、ソ
ガ二百九十三條ソレカラ二百九十四條ハ此提供者ガ提供
爲シマスル際ニ於テハ、先ヅドウ云フ方法デ自分ハ辨償
スル、ソレカラ之ニハ相當擔保ヲ出スト云フ場合ニハ如何
ナル擔保ヲ出スカト云フヤウナコト、其外、和議其ノ條件ト
テ持出ス所ノモノヲ此提供者ノ方カラ全部定メテ裁判所
申出ネバナラヌト云フコトニナッテ居リマス、デ之ヲ債權
ガ承認スルヤ否ヤニ依ッテ和議ガ成ル譯デアリマス、是
ガ二百九十四條、ソレカラ此和議ト云フモノヲ債權者ガ何
處マデモ眞面目ニ自分ノ全力ヲ注イデ債權者ニ出来ルダケ
満足ヲ與ヘルト云フコトガ茲ニナクテハナラヌコトデアリ
マス、提供者自身ノ所在ガ不明デアルトカ、或ハ詐欺破産
訴ヲ既ニ受ケテ居ルトカ或ハ又モ詐欺破産ノ罪ガ極マツ
タトカ、斯ウ云フヤウナ場合ニハ迎モ此和議提供者ノ誠意
ヲ其處ニ認メルト云フコトハ出来ナイ、斯ウ云フ場合ニハ
和議ハ出来ナイト云フコトニナッテ居リマス、是ガ二百九
十五條、ソレカラ二百九十六條ハ和議ト云フモノガ往々ニ
シテ破産手續ヲ一時通レル、破産手續ノ嚴格ナルヲ一時通
レルト云フコトノ爲ニ、眞面目ニ利用サレルヤウナコト
ガアッテハイケマセヌカラ、ソレデ債權者ノ集會デ強制和議ヲ
規定ガ設ケラレタノデ、ソレデ債權者ノ集會デ強制和議ヲ
否議シタコトアルトキ、曾テ提供シタルコトガアツタガ
ノ時ハ否決ニナッテソレガ又更ニ提供シテ來タ、是ハドウ
モ前ニ否決ニナル位デアラカラ、餘程ソコニハ如何ハシ
缺點ガアルデアラウ先ヅ一應ハ推測シ得ベキ場合、ソレ
カラ一旦提供ヲシマシタケレドモ、其強制和議ヲ評議スル
集會ヲ開キマスル所ノ日ニチヨリ前ニ……日ニチヲ公告シ
タ後ニ、其提供ヲ撤回シマス、是モ頗ル不眞面目ナルモノ
ト見テ宜シイ、曾テ撤回シタ事ガアル、今度ト云フ譯デア
リマセヌ……曾テ、此人ハ一旦和議ヲ提供シタケレドモアレ
ハ又撤回シタコトガアル人ダト云フコトデ、今度ノ提供モ
總テ不眞面目ナルモノデハナイカト云フコトヲ見ルコトノ
一ツノ事情ト見テ宜シイ、ソレカラ曾テ強制和議ガ一旦決
議サレタケレドモ、裁判所デ以テ見ル所ガアツテソレガ不認
可ニナツタ、所ガ又提供者ノ和議ヲ提供シテ來タ、是モ
頗ル缺點ガアルカモ知レナイ、斯ウ思ハレル、ソレカラ又
強制和議ノ取消ノ決定ヲナシタル場合、之モ同ジデアッデ、
強制和議ヲ眞面目ニ履行セシメタ、或ハ強制和議ト云フ
モノガ不正ナ方法デ行ハレテ居、タト云フコトガアツタガ爲
ニ、其取消ガアツタト云フコトガアル、曾テ斯ウ云フコトガ
アツタト云フコトニナリマスレバ、如何ニモ今度ノ強制和議

ノ提供ト云フモノモ或ハ眞面目ヲ缺イテ居ルト云フヤウナ
コトニ、一應ハ見ル可キ事情モアルコトデアラカラ、ソコデ
裁判所デ斯ウ云フ場合ニハ監査委員等ノ意見ヲ聴キ致シ
マシテサウシテ是ガイケナイト云フ場合ニハ強制和議ノ提
供ヲ棄却シ、却下シテ宜シイト云フコトニナッテ居リマス
○藤田四郎君 二百九十六條ノハ、曾テ斯ウ云フコトヲシ
タコトガアルト云フコトニ、一項、二項、三項皆サウ云フ風
ニ讀ムノデスカ
○政府委員(池田寅二郎君) 其ノ積リデアリマシテ「シタ
ルコトアルトキ」ト書イデアリマスノハ其趣旨ニナッテ居リ
マス「決定ヲ爲シタルコトアルトキ」……
○藤田四郎君 斯ウ云フ書キ工合ハ例ガアルノデスカ、何
カ……サウ云フヤウニドウモ讀惡ウゴザイマスナ、何カ民
事訴訟法ナンカニ斯ウ云フ風ニアルノデスカ、後デ御覽ヲ
願ヒマス
○政府委員(池田寅二郎君) 承知シマシタ
○男爵矢吹省三君 一寸コ、デ二百九十四條ニ付テ質問シ
テ宜シウゴザイマス
○副委員長(河村讓三郎君) 宜シウゴザイマス
○男爵矢吹省三君 強制和議ノ提供ト云フ「提供」ト云フ文
字普通我々ノ頭ニハ可笑シク聞エルノデアリマスケレド
モ、訴訟法ナドニ斯ウ云フ場合ニ「提供」ヲ使ッタ例ガゴザイ
マス
○政府委員(池田寅二郎君) 是ハ和議ヲ申出デルト云フ意
味デアリマスノデスカ……
○男爵矢吹省三君 提供ト云フコトハ、民法ニ債權ノ辨償
ノ提供トカ云フ所ニ、此字句ガアルヤウデアリマスガ、其他
ハ現實ノ提供トカ云フヤウナモノデ、サウ云フ場合ニ多ク
提供ト云フ字ガアルヤウニ思ヒマスガ、寧ロ此場合ハ「強
制和議」トデモシタ方ガ中テ居ルデハナイカト思ヒマス
○政府委員(池田寅二郎君) 此提供ハ、今仰セニナリマシ
タ民法ノ辨償ノ提供ト云フノ意味ハ變テ居リマスノデ
ス
○男爵矢吹省三君 詰リ民法ニ辨償ノ提供ナント云フ字句
ガアツテ、此提供ト云フコトニ付テハ一般普通常識以外ニ法、
律ニ於テ或ル用ヒル場合ニ限ッテ從來アリハシナイカト思
ヒマス、私ハ……サウスルト此破産法ニ於テ強制和議ノ提
供ト云フ字句ハ穩カデナクハナイカト思ヒマス
○政府委員(池田寅二郎君) 民法ノ辨償ノ場合ノ用テハ
無論變テ居リマスノデアリマスガ、是デモ別段差支ハナイ
積リデアアルノデアリマス、尙ホ又外ニ用テ等ガアリマスヤ
ウデアリマスレバ調ベテ御報告イタシマス
○男爵矢吹省三君 ソレデハ用例ヲ御調ベ置キヲ願ヒマス

○藤田四郎君 次ヲ願ヒマス
○政府委員(池田寅二郎君) 二百九十七條ハ、眞面目ナル和
議ト一應認メラレマスニ依ッテ、前條ニ依ッテ和議ヲ却下
スルト云フコトヲシナイデ、更ニ進ンデ和議ノ手續ヲ進メ
ルト云フ見込ヲ裁判所ガ附ケマシタ時ニハ、若シ其事件ニ
監査委員ガアリマスレバ其監査委員ノ意見書ト云フモノヲ
徵スルコトニナルノデアリマス、ソレガ二百九十七條、ソレ
カラソノ監査委員ノ意見書ナリ或ハ和議ノ提供ニ關スル書
類ナリハ、是ハ和議ヲ承諾スルヤ否ヤニ付マシテ重大ナル
關係ノアルモノデアラカラ、利害關係人ニ之ヲ見セル爲
ニ……
〔委員長伯爾松平賴壽君委員長席ニ着ク〕
○政府委員(池田寅二郎君) 裁判所ニ之ヲ備ヘ付ケルト云
フコトニナッテ居リマス、是ガ二百九十八條、ソレカラ愈
強制和議ノ評議ヲ致シマスル爲ニ、債權者集會ト云フモノ
ヲ開クコトニナリマス、ソレデ其期日ヲ決メルコトニナ
ル、ソレハ公告ノ日ヨリ先ヅ一月以内ト云フコトデ之ヲ定
メルコトニナッテ居リマス、ソレガ二百九十九條、ソレデ其
日ニハ届出ヲナシテ居リマス破産債權者、ソレカラ和議ノ
提供者、ソレカラ今度強制和議ヲ爲サシムルニ付テ債務者
タル提供者ノ爲ニ保證人トナリ、或ハ其提供者ト共ニ債務
ヲ負擔スル……連帶的ニ債務ヲ負擔スルト云フヤウナ事モ
アリマセウシ、或ハ擔保ヲ破産債權者ニ對シ出シタルト
云フ様ナ者、即チ此和議ノ實行ニ協力助力ヲ致シマス者、並
ニ此管財人、監査委員等ヲ呼出スト云フ事ニナリマス、ソレ
デ是等ノ者ニハ強制和議ノ條件或ハ監査委員ノ意見ノ要領
ト云フモノヲ書イタ書面ヲ豫メ配テ置ク、サウシテ此評議
ノ際ノ參考ニスルト云フノガ二百九十九條規定デアリマス、
ソレデ是ハ期日ノ併合ノ規定デアリマス、三百條ハ……和
議ノ提供者、監査委員等ガ之ヲ望ミマスル場合ニハ、此強制
和議ヲ爲ノ集會ノ期日ト、ソレカラ前ニアリマシタ此債權
ヲ調査シマスル其一般期日ト云フモノヲ、之ヲ併合シテ、サ
ウシテヤルコトモ出来ル、サウスルト一方ニ於テ債權ノ調
査ト云フ事モ出来ルシ、ソレカラ此和議ニ付テ審議ヲスル
ト云フ事モ出来テ、兩者便宜デアラカラシテ之ヲ一絡ニ合
スル事モ出来ル、ソレカラ三百一條ハ強制和議ノ提供者ガ
是ガ其決議ニ付テ一番ノ責任者デ、其期日ニ出頭シテ、強
制和議ノ申立テヲシナケレバナラヌ、前ニ此強制和議ノ提
供ト云フ事ハ恰モ裁判所ニ對シテ訴ヲ致シマスル際ニ訴狀
ヲ出スト云フコトト同ジデアリマス、一應其提供ヲシテ置
キマシテ、サウシテ愈々會議日ガ來マスレバ、會議ニ自ラ出
テ、サウシテ其趣旨ヲ裁判所ニ於テ此會議ニ申立テラスルト
云フコトニナルノデアリマス、本人ガ出ラレナケレバ、已ム

ヲ得ナイ事由ガアレバ、代人ヲ出スコトモ差支ナイ、其時ニハ委任狀ヲ取ツテ、之ヲ差出スコトモナルノデアリマス、ソレカラ一旦和議ノ提供ハシテアリマシテモ、此肝腎ノ期日ニ出マシテ、サウシテ和議ノ申立ト云フモノヲシナケレバ、共和議ニ云フモノハ之ヲ進行シナイ、共和議ハモウ撤回シタモノト見ル、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、ソレデ和議ノ條件ハ此提供ヲ致シマスル時ニ既ニ定テ居ルノデアリマス、ソレデ之ヲ後ニナッテ此債權者集會デ以テ之ヲ變ヘルト云フコトハ是ハ許サナイノデアリマス、併シナガラ其變更ノ方法仕方債權者側ニ取テ別ニ不利益デナケレバ、之ヲ禁ズル理由モゴザイマセズ、不利益ノ場合ハ之ヲ變ヘルコトハ出來ナイ、例ヘバ今ノ或議歩ヲシテ吳レト云フコトヲ條件トシテ居タモノヲ、其向フノ讓歩ヲ更ニ多ク請求スルコト云フヤウナコトデアルトカ、或ハ自分ノ擔保ヲ幾ラカ減ラスト云フヤウナコトニナリマスレバ初メノ申出ヨリモ債權者ニ取テ不利益トナリマスカラ、サウ云フ變更モ後ニナッテ之ヲ許サナイト云フノガ三百二條ノ規定デアリマス、ソレカラ三百三條ハ前ニ一寸引合ヒニ出シマシタガ、一般ノ債權者調査ガマダ終ラナイ前ニハ一體債權者ノ大體ノ調査ト云フモノモマダ出來テ居リマセヌカラ、ドノ位ノ債權者ト云フモノガアリ、ドウ云フ債權ノ状態ト云フコトモ分ラヌ譯デアリマス、其前ニ此和議ノ決議ヲスルト云フ事ハ許サナイ、ソレカラ又提供ヲ許シマスカ、其場合……ソレカラ最後ノ配當ノ許可ガアツタ後ハモウ既ニ通イカラ、決議スル事ヲ許サナイ、此和議ニ付テ時期ヲ定シマシタ規定ニナッテ居リマス、ソレカラ一體此和議ノ條件ト云フモノハ是ハ公平デナクチヤナラヌ、各債權者公平ニシナケレバイケナイ、殊ニ多數ノ決ヲ以テ少數者ヲ從ハシムルト云フコトニナリマスカラ、何處マデモ公平デナクチヤナラヌ、ソレデ各債權者平等デナクチヤナラヌ、併シ不利ヲ受クル者ガ特ニ自分ガ承知ヲスルト云フコトデアレバ、敢テ其人ノ意ニ反スルコトハアリマセヌカラ、ソレデ敢テ差支ナイ、大體ハ和議ノ條件ト云フモノハ平等ヲ本則トスルト云フコトヲ三百四條ハ規定シタノデアリマス、ソレカラ三百五條ハ是ハ此公正ナル和議ノ出來ルコトヲ豫防イタシマスル爲ノ規定デアリマシテ、即チ提供者若クハ他ノ者ガ強制和議ニ決メタ條件ニ依リマセヌデ、或債權者ニ特別ニ利益ヲ與ヘ、サウシテ其債權者ヲ買収シテ、サウシテ共和議ノ承諾ヲサシムルト云フヤウナコトガアツタハ、此和議ノ公正ヲ失フコトニナリマスカラ、サウ云フ協定ハ一切之ヲ無効ニスルト云フノガ三百五條ノ規定デアリマス、ソレカラ三百六條ハ此和議ヲ決スル所ノ定期數ヲ決メタモノデアリマス、即チ議決權ヲ行フコトヲ得ベキ出席破産債

權者ノ頭數半分以上デ、其債權ノ額ガ即チ可ナリトスル人ノ債權ノ額ガ出席デノ債權ノ總額ノ四分ノ三以上ニ當ルモノガ、之ニ同意ラシテ居ラナケレバ採決ヲ行フコトハ出來ナイ、詰リ一定ノ人員ト一定ノ債權額ト云フモノヲ茲ニ決メマシテ、サウシテ此和議ノ決議數ヲ定メタ規定デアリマス、其債權ノ金額總債權ト云フヤウナモノヲ計算イタシマスニ付テハ確定債權ニ付マシテハ其後面ノ額ニ依リマスルケレドモ、其他ノ債權ニ付マシテハ此額ニ依リマシタ百八十二條ノ二項ノ規定デ以テ裁判所ガ適當ノ裁量ヲシテ、サウシテ其額等ヲ決メスコトニナリマス、サウシテ其決メタモノデ以テ此第一項ノ總債權ト云フモノヲ割出スコト云フ事ニナルノデアリマス、ソレカラ此強制和議ノ決議ハ成ダケ成立セシメルト云フコトヲ法律ハ欲スルノデアリマス、此頭數、ソレカラ債權額ト云フ二ツノ條件ガ揃ハナクチヤナリマセヌカ、二ツノ條件ハ揃ハナイガ、其一ツハアツタモノ時ニ於キマシテハ、ソコデ以テ和議ガ成リ立タナカッタモノト打切ツテ仕舞ヒマセヌデ、此提供者ガ續行ノ申立テヲシマスレバ、其和議ノ評議ヲ後日ニ一週延バシテ和議ノ成立スルヲ開イテ、其處デ成ダケ其間ニ融レニ付マシテハ單ニ提供者ヤウニシテヤルノデアリマス、ソレニ付マシテハ、濫用セラ者ノ申立ノミルニ依リト云フコトデアリマシテハ、濫用セラレル處ガアリマスルカラ、此出席債權者ノ半分以上デ以テ、サウシテ額ガ總債權者ノ四分ノ三ト云フ譯ニハ行カヌケレドモ、其出席シタル債權者ノ債權ノ半額ニ超ユルモノ、此位ノ程度ノモノガ同意ラスルト云フコトデアレバ、其時限リデ打切リトシマセヌデ後日ニ其評議ヲ續ケテ行ク、サウシテ成ルベク可決サレルヤウニ取計フト云フ途ヲ開イタ譯デアリマス、

○藤田四郎君 一寸伺ヒマス、此三百七條ノ第二行目ノ「其者ノ總債權」ト云フノハ、サウスルト出席債權デスナ

○政府委員(池田寅二郎君) 左様デアリマス

○藤田四郎君 サウスルト前ノ條トハ非常ニ減ツテ仕舞フ、著シイ差ガ出來ル、前ノハ出席ノ債權ノ四分ノ三トアリマス、此場合デハ出席ノ債權ノ半分ト云フコトニナリマス

○政府委員(池田寅二郎君) はい左様デアリマス

○藤田四郎君 ソレナラ初メカラ、サウ云フヤウニシタライカスノデスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 是ハ決議ヲ致シマス趣意デアリマセヌデ、打切ラヌダケノ意味デ此位ノ人ガ打切ツテハ氣ノ毒ダカラ延ベテヤレレバ、延ベテヤレト云フダケノコトデアリマス

○藤田四郎君 續行ノ意味デアリマセウ

○政府委員(池田寅二郎君) 左様デアリマス

○藤田四郎君 モウ一ツ前ノ三百四條ハ此但書ト云フモノ

ガ要リマスノデスカ、是ハ當然差支ナイモノデアルノデアリマスガ、矢張斯ウ云フヤウニ書クベキ必要ガアルノデアリマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 書イテ見レバ、條理ハマア此通りノコトニナルノデアリマス、嚴格ニ平等ト云フコト……是ハ隨分嚴格ノ規定デアラウト思ヒマス、ト云フコトニ書キ切リニシテ置キマシタナラバ、其ノ反對ノ解釋ヲ容レルヤウナ餘地モアリマスカラ、ソコデ此但書ヲ現シタモノデアリマス

○藤田四郎君 宜シウゴザイマス

○委員長(伯耆松平賴壽君) 三百八條

○政府委員(池田寅二郎君) ソコデ愈々強制和議ノ可決セラレマシタ時ニハ裁判所ニ其評議ノ期日ニ於テ強制和議ヲ認可スルヤ不認可スルヤト云フ決定ヲ致シマス、其日ニ決定ハ出來ナイトカ、少シ決シ兼ねルト云フ場合ニ於テハ其日ニ決シ言渡スベキ所ノ日ヲ定メテ置キマシテ定タ日ニ於テ認、否認ヲ決定スルト云フ事ニナリマス、是ハ前ニモ同ジヤウナコトガアリマシタ、デ此二百九十九條ノ二項ニ掲ゲテ居リマスモノ即チ提供者デアルトカ或ハ保證人等トナッテ和議ヲ助ケテ成リ立タセヤウト云フコトニナッテ居ル所ノモノハ是等ノモノハ強制和議ノ認否ニ付テノ意見ヲ述ベルト云フコトガ出來ルコトニナッテ居リマス、是等ノ意見ヲ聽キマシタ裁判所ガ認否ノ決定ヲ致ス事ニナリマス、ソレカラ三百九條ハ是等ノ期日其他ノ公告、送達並ニ不服等ノ問題等ニ付テノ手續デアリマス、ソレカラ三百十條ハ強制和議ノ不認可ノ決定ヲ爲スコトヲ得ベキ場合ヲ茲ニ掲ゲテ居リマス、即チ強制和議ノ手續若クハ決議ガ法律ニ背イタノデアツテ其決定ヲ後ヨリ補フコトガ出來マスレバ補ハシメルガ宜シイケレドモ、其補フコトガ出來ナイト云フ場合ニ不認可ノ決定ヲシナケレバナラヌ、ソレカラ二百九十五條ニ規定スル事由ト云フモノハ破産者ガ逃亡スルトカ或ハ詐僞破産者ノ場合デアリマス、サウ云フコトガ強制和議ノ決議シマシタ後ニ起リマシタナラバ強制和議ノ提供其モノヲ却下シテモ宜イ所デアリマス、後ニ起ッテ來タト云フ場合ニ和議ノ決議ヲ認可出來ナイト云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ三百三條ハ強制和議ノ決議ガ不正ノ方法ヲ以テ或ル詐僞、強迫、賄賂、等ガ行ハレタト云フコトガアレバ其場合ニハ矢張認可シナイ、強制和議ト云フモノガ債權者ノ全體ノ利益カラ見マシテ是ハ有利デハナイト云フコトヲ、裁判所ガ認メマシタ時ニハ之ヲ不認可ニスルト云フコトニナッテ居リマス、是ハ裁判所デ自カラ此コトヲ決メマスレバ職權ヲ以テ止マリマス、又破産債權者ガ此コトノ申立ニ對シテ取調ベノ上決定スルト云フコトニナリマス、決議權ヲ有セナカッタナラバ債權者ガ申立ヲスル、強制和議ノ不

認可ヲスベキ申立ヲスル場合、破産者タルコトヲ一應説明シテ此申立ヲシナケレバナラヌト云フコトニナリ居リマス、尙ホ又此申立ヲスルモノハ申立ヲスルニ付テ相當ノ根據ト云フコトヲ一應説明シナケレバナラヌト云フコトニナリ居リマス、ソレカラ愈々此強制和議ガ可決セラレマシタ際ニ其和議ノ提供者ガ法人デアリテ強制和議ニナリマスレバ破産ハ止マルコトニナリマス、強制和議ガ可決ニナル場合ニハ果シテ其法人ト云フモノガ繼續スベキヤ否ヤト云フコトガ茲ニ起リテ來ルノデアリマスガ、破産ガ止マル以上ハ主務官廳ガ之ヲ認可シマスレバ其法人ハ繼續スルコトガ出來マス、又財團法人デアリマス、此規定ニ依リテ行フコトガ出來ルコトニナリ居リマス、デ一且破産ノ決定宣告ヲ受ケマスレバ法人ハ解散シテ居リマス、ソコデ今度ハ決制和議ガ出來タニ付テ更ニ法人ガ復活ヲスルコト云フ途ヲ茲ニ開イタ譯デアリマス。

○男爵矢吹省三君 ソコデ伺ヒタイノデアリマスガ、前ニ破産續行中ハ其法人其儘ニ繼續シテ居ルト規定ガアリマスガ其場合ハ破産宣告其儘デアリナラバ、此規定ニ依リテアリマスガ、強制和議ト云フ事ニナルト、此規定ニ依リテアリマスガ、強制和議ノ提議ガアリ又ハソレガ認可サレタ時ニハ最早破産ト云フ、状態カラ脱レテ、普通ノ清算ニ復スルノデアリマスガ、ソレトモ元ノ法人ニスルノデアリマスガ、茲ニハ元ノ法人ニスルヤウニ見エマスガ、矢張清算状態ニアルノダラウト思ヒマスガ……

○政府委員(池田寅二郎君) 強制和議ノ認下ニナリマシテ、ソレガ確定イタシマス、ソコデ其破産ハ終結スル事ニナル、破産終結ノ決定ヲスル事ニナルノデアリマス、サウスル破産ト云フモノハソコデ止リテ居リマス、併ナガラ破産ノ宣告ト云フモノハ矢張殘テ居リマス、破産宣告ニ依リテ法人ハ解散シテ居ルコト云フ状態ニテ居リマス、破産ノ手續ヲ續行スル爲ニ其範圍内ニ於テハ清算スルモノト看做スト云フ事ガアリマスガ、破産法人トシテ殘テ居ルハ、度ノ強制和議ニ極マルノデアリマス、其解散ノ状態ト云フモノヲ一掃シマシテ更ニ法人ヲ繼續シテ行クト云フ事ニナルノデアリマス、デ此規定ガ置カレタノデアリマス

○男爵矢吹省三君 サウスル破産宣告ヲ受ケタ後ニ強制和議ガ成立タト致シマス、其法人ハ破産状態ニアルモノトシテ見ナイデ、元ノ法人即チ事業ヲヤテ居ル法人ニ復活シタト云フコトニナルノデアリマスガ……

○政府委員(池田寅二郎君) 其通りニナルコト、思ヒマス

○男爵矢吹省三君 ソコガ未ダ了解ガ出來ナイノデアリマスガ、元々破産宣告ヲ受ケル様ナ場合ニハ事業ニ行詰リタ場

合デアル、即チ解散セザルヲ得ナイ場合ニ破産宣告ノヤウコトガ起ルノデアリマス、サウスル、唯強制和議ノ破産ノ手續デナシニ債權ヲ整理スルコト云フ強制和議ガ成リ立ツカラ必ズ元ノ事業ハ其儘ナシ得ルコト云フ状態ニ復シタトハ言ヘナイと思フ、多クハ其事業ハソレデ仕舞フ場合デアラウト思ヒマス、然ルニモ拘ラズ、此際ニ元ノ法人ニ復スルコト云フコトニ付テ其必要ガドコニアルノデアルカ、私ハ了解致シ兼ねマス

○政府委員(三宅正太郎君) 矢吹男爵ニ御答イタシマスガ、各法人ガ破産宣告ヲシテ和議ヲスル事ニ依リテ云フ場合、其法人ハ既ニ何等カノ事由ニ依リテ解散シマシテ、サウスル清算手續ニ移リテ居ルコト云フ場合、更ニソコマデ破産宣告ノアツタ場合ト一ツニ御區別ニナタト思ヒマスガ、前者ノ場合ニ於テハ假令其破産ガ強制和議ノ認可決定ニナラバ、サウスル破産状態ガ無クナリマスレバ、是ハ當然破産宣告ナカリシ状態ニナリマス、此點ニ於テハ別ニ御異議ハナイと思ヒマス、生産状態ニナリマシタ時ニ其取締役ガ破産ノ申立ヲシタ場合、サウスル強制和議ガアル場合ニ於テハ、矢張ソレデ強制和議ノ認可決定ガアレバ、詰リ破産ノ宣告ナカリシ状態ニ復スルノデ矢張其場合ハ生産状態ニナルト私ハ考ヘマス

○男爵矢吹省三君 三宅政府委員ノ仰シヤクコトハ、是ハ私モ其通りト思ヒマスガ、サウスル意味ニ此條文ガ取レマスナラバ、ソレデ宜シウゴザイマスガ元ノ法人ヲ繼續スルコトヲ得ト云フ意味ガ生産状態ニナタ法人ナラバ、其状態ノ法人ト云フコトニ諒解シテ宜シイナラバ、私モ御同意イタシマス

○政府委員(三宅正太郎君) 法人ガ解散致シマスレバ、法人ハ其生産ノ範圍内ニ於テ存続スルノデアリマス、サウスル張生産範圍内ニ於テ會社ハ從來通り存在シテ居ル形デアリマス、即チ法人ヲ繼續スルコト云フ其程度ニ於テ法人ガ繼續サレルノダト云フ風ニ解釋ガ出來ハシナイカト存ジマス

○男爵矢吹省三君 諒解イタシマシタ

○委員長(伯爵松平賴壽君) 次ヲ願ヒマス

○政府委員(池田寅二郎君) ソレデ強制和議ノ認否ヲ致シマスニ付テ果シテ法人ヲ繼續スルカドウカト云フコトヲ決メル必要ガアリマス、サウスル、ソレデ此法人ヲ繼續スルカドウカト云フコトガ、ニ決マツタ場合、或ハ何時マデモ繼續スルヤ否ヤ決メル所ノ手續ヲシナカッタ、此場合ニハ裁判所ハ法人ノ理事其他法人ノ責任者ノ申立デニ依リマシテ、或ハ職權ヲ以テ其強制和議ノ認否ニ付決定ヲ致シマス、爲ニ、ソコニ時日ヲ決メマシテ、何時マデモ待テ居ル譯ニ參リ

マセスカラ、其時日ヲ決メテ之ヲ公告スルコトニナリマス、ソレデ愈々法人ヲ繼續シナイト云フコトニナル、又ハ其手續ヲ愈々其期日マデニヤラナイト云フコトニナルナラバ、強制和議ハ之ヲ不認可ニスル、強制和議ヲ認可シマシテモ、其效ガアリマセスカラ、不認可ニスルノデアリマス、ソレカラ三百三十三條ハ相續財産ニ對シテ破産ノ宣告ヲヤテタ場合、此場合ニハ相續債權者ト受遺者ガ來ルノデアリマス、受遺者ハ全クノ絶望的ノ辨濟ヲ受ケルノデアリマス、相續債權者ハ普通ノ破産債權者ト同等ノ地位ニ居ルモノデアリマス、ソレデ強制和議ノ申立ヲシテ之ニ加ハル債權者トシテハ、相續債權者ノミデアリマス、ソレカラ三百三十四條ハ相續財産ニ對シテ破産ノ申立ヲナシ得ル期間内ノ申立ト云フコトガ百三十一條デアリマシタ、即チ相續財産ヲマダ分割シ得ル状態ニ於テ或時期ニ於テハ破産ノ申立ヲシタ場合、其場合ニ相續人ニ對シテ其時期ニ於テ破産ノ宣告ガアリマシタナラバ、其場合ニハ此相續人ノ債權者ト云フモノガ是ガ優先的地位ニ居ル者デアリマス、相續人ノ債權者ヲ以テ強制和議ニ加ハル所ノ者トシタノデアリマス、三百三十五條モ大體同ジナウヤコトデアリマス、相續財産及相續人ト云フコトガ、ソレカラ相續財産及前主ニ是等ニ對シテ破産ノ宣告ガアリマシタ時ニ、此相續人ノ方ハ相續人破産ノコトハ相續人ノ強制和議、相續人ノ破産ニ付テノ強制和議ニ付テハ相續人ノ債權者ト云フ者ガ是ガ強制和議ニ加ハルコトニナル、デ相續債權者受遺者ハ加ヘナイ、ソレカラ此相續財産及前主ニ對スル破産ノ宣告ガアリマシタ時分ニハ、其前主ノ強制和議ニ付テハ矢張前主ノ固有債權者ト云フモノガ其和議ニ加ハルモノトスル、ダカラ各、固有財産ニ付マシテ優先ノ地位ニアル者ヲ以テ其和議ノ債權者ニスル、ソレガ丁度普通ノ破産債權者ニ對立スルモノデアリマス、サウスル、ソレノミヲ以テ和議ニ加ハラシムルコト云フ意味ノ規定デアリマス、ソレカラ三百三十六條ハ其結果ノ規定デアリマシテ、強制和議ノ決議ニ干與ガ出來ナイ者ハ三百六十六條ニ於テ其決議定數ヲ計算シマスル場合ノ債權額ニハ之ヲ加算シナイト云フコトニナリテ居リマス、ソレカラ強制和議ノ決議ニ加ハラナイ者ニ對シマシテモ、矢張強制和議ト云フモノハ其效力ガ及ブ譯デアリマス、是ハ比較的利害ノ關係ガ薄イト云フコト云フノデ、加ヘテ居ラナイ、強制和議ヲ成ルガ正當ニ成リ立タシメル趣意ガラシテ、利害關係ノ薄イ者ハ加ヘナイ趣意デアリマス、效力ハソレニ及ブノデアリマス、デアリマス、サウスル、是等ニ加ハラナカッタ債權者ノ正當ノ利益ヲ害スルヤウニナッテハ相濟ミマセスカラ、ソコハ裁判所ガソレヲ監督シマシテ、サウスル場合ニハ強制和議認可ノ決議ヲスルコト云フコトニナリテ居ルノデアリマ

ス、ソレ其申立ヲスル者ハ破産債權者タルコトヲ證明シ、又申立ノ原因根據ノアルコトヲ證明スルコトモ必要デアリマス。又三、三十條三項ノ規定ヲ準用スル規定ニテ居リマス、ソレハ破産債權ノ認可若クハ不認可ノ規定ト云フモノハ、之ヲ言渡シマス、尙ホ且ツ一般ニ通知セシムル爲メ之ヲ公告スルコトニナルデアリマス、併ナガラ別段ハ一々送達スルコト云フコトハ要ラナイ、ソレカラ三百十九條ハ議決權ヲ有シナカッタ所ノ破産債權者、即チ此項ニアリマシタ議決ノ數ニ加ハラナイ其破産債權者ガ強制和議ノ認可ニ付テ不服ヲ申立テタ場合ニハ、自分ガ破産債權者ト云フコトヲ證明シテ申立テシナケレバ、ナラス、三百二十條ハ是ハ此決議ニ加ハルコトヲ得ザリシ債權者ハ此不認可ニ對シテハ不服ヲ申立テナスコトハ出來ナイ、自分ガ加ハラナイ所ニ於テ和議ガ成リ立ッテ仕舞フコトヲ事ニ對シテハ、異議ガアレバ不服ヲ申立テ、自分ガ干渉セザリシ場合ニ於テ和議モ何モナカッタコト云フコトデアレバ、ソレニ對シテ不服ヲ言フコト云フ理窟ハアリマセヌカラ、不服ヲ申立テル事ハ出來ナイト云フノガ三百二十條ノ規定デアリマス、強制和議ノ認可決定其儘デナク、認可決定ガ確定イタシマス、初メテ其效力ヲ生ズルコト云フコトニナルデアリマス、強制和議ノ認可ノ決定ガ確定イタシマス、其強制和議ニ於テ破産債權者ハ其條件ヲ履行ニ記入スルコト云フ事ニナリマス、是デ以テ強制和議ガ履行ノ根本ニナル譯デアリマス、ソレカラ強制和議ガ茲ニ極マリマス、破産債權者ハ財團債權者或ハ強制和議ノ關係ニ於テハ、破産債權者トセラレズニ除カレテ居リマシタ所ノ優先債權者等ノ確定債權者、一々支拂ハナヘナラヌコト云フコトニナリマス、此分ダケデハ管財人ガ總テ支拂ッテ仕舞フコトニシマス、此分ダケデハ效力ヲ受ケテ、強制和議ノ履行ニ依ッテ始末ガ付クト云フ事ニナリマス、所分是等ノ優先債權ノアル債權等ニ付テ異議ガアルモノニ付マシテハ、其ノ債權ハ之ガ爲ニ供託シテ、サウシテ先ヅ其方ハ片付ケルト云フコトニナッテ居ルデアリマス、ソレカラ三百二十二條ハ此強制和議ノ認可ガ茲ニ極マリマス、二百八十二條ノ規定ニ準ジマシテ破産ノ終結決定ヲ致スノデアリマス、即チ配當ガ終ハリマシテサウシテ破産ノ終結決定ヲスルノ同ジ趣旨デアリマシテ、強制和議ガ極マリマス、破産ハ茲ニ終結スルコトニナリマス、終結決定ヲスルコトニナリマス、ソレカラ尙ホ破産ガ御終ヒニナリマシテ、ソコデ破産者ト云フモノハ財團ノ管理處分ノ權限ト云フモノヲ茲ニ恢復スルコトニナリマス、管財人ト云フモノ、任務ハ其所デ終ハル、斯ウ云フ譯ニナリマス、併ナガラ其財團ノ管理處分ト云フモノ、方法ハ強制和議ノ條件デ以テ定マッテ居ルデアリマス、定メタ

所ノ方法ニ從ッテ債務者ハ其財産ノ管理等ヲセバナラスト云フコトニナルデアリマス、ソレカラ強制和議ハ破産債權者ノ全員ノ爲ニ效力ヲ生ジ、又其全員ニ對シテ效力ヲ生ズルデアリマシテ、破産債權者トシテ和議ノ決議ニ加ハタモノト、或ハ届出シタモノト、セナイモノトニ拘ラズ、尙モ其破産ニ付テ破産債權者ノ爲ニ又全體ノ爲ニ其效力ヲ生ズルデアリマス、強制和議ノ場合ニハ御互ニ讓歩ヲスルコト云フコトニ大體ナルデアリマス、前ノ債權額ヲ幾ラカ減額ヲスルコト云フコトガ起ッテ參リマス、サウスルト民法ノ規定ニ依リマシタナラバ、債權者共ニ減リマス、保人、保證人、斯ウ云フヤウナモノハ從ッテ其範圍ニ於テ減額サレルト云フコトニナル譯デアリマス、併ナガラ強制和議ガ濟ミマシテモ、是等ノモノニ對スル權利ト云フモノハ影響ヲ及ボサナイト云フコトニ極メマシタノハ斯ウ云フ保人、保證人、最モ必要ナモノデ、其時ヲ寧ロ慮テ定メタモノデアリマス、此擔保權ト云フモノハ矢張り依然トシテ存續シテ居ルモノデアアル、只債權ガ讓歩ニ依ッテ減額サレタコト云フ狀態ニ止マシテ居ルモノデアアルト云フコトヲ定メタモノデアリマス、ソレカラ三百二十七條ハ此法人ノ債務ニ付マシテ責任ヲ負フ所ノ社員、例ヘバ合名會社ノ社員トカ云フヤウニ、法人ノ債務ニ付テ責任ヲ負フ所ノモノガ居ルデアリマス、ソレ等ノモノニ付マシテハ、強制和議ノ定ムル所ニ從ッテ、其限度ニ於テ責任ヲ負フコトニナッテ居リマス、デアリマス、ソレカラ強制和議デ以テ法人ノ債務ガ半分ニナレバ、其者ノ責任モ半分ニナル、是ハマア單ニ債權者ニ對シテ直接ニ責任ヲ負ハナイデ、法人ニ對シテ、法人ノ借金ヲ拂フ爲メ法人ノ財産ヲ賣ダツタ云フダケノ意味、所謂内部關係ノ責任デアリマス、ナラバ實ハ當然ノコトデアルカモ知レマセヌ、直接ニ債權者ニ對シテ責任ヲ負フコト云フモノデアリマス、一體ナラバ此責任モ社員ノ責任ハ減ラナイト云フコトニナルカモ知レマセヌガ、併ナガラ此法人ノ債務ニ付テ直接責任ヲ負フコト云フ場合ハ、宛モ保證人ナドノ場合トハ違ヒマシテ、法人ノ債務ガ減タ場合ハ、社員ノ責任モ減ル意思デアアルト云フコトニ見ル方ガ通常デアラウ、デアリマス、カラ一應サウ見マスガ、法人ノ債務ハ半分ニスルケレドモ無限責任ノ社員ノ責任ハ減ス意味デハナイト云フコトガ、諸テアレバ別デスガ、特別ニ諸テナイ以上ハ法人ノ債務ガ減タ、讓歩シタ以上ハ、責任者ニ對シテモ讓歩ノ利益ヲ與ヘタモノト推定スルコト云フノガ三百二十七條ノ規定デアリマス、ソレカラ三百二十八條ノ規定、債權ヲ有シテ居リマス、即チ此破産手續中ニ於テ債權ノ確定

シタルモノ、其債權者ハ破産者ガ債權調査ノ期日ニ於テ異議ヲ述ベテ居ラナイ時ニ於テハ、其破産債權者ノ成立ニ依ッテ破産ガ終結シタ、其終結ノ後ニ破産者及ビ其強制和議ヲナス爲メ、破産者ノ爲ニ擔保ヲ供シタ者トカ、或ハ保證人トナツタ者トカ、是等ノ者ニ對シマシテモ強制執行ヲナスコトガ出來ル、債權者ノ規定ニ依ッテ強制執行ヲナスコトガ出來ル、但シ此場合ニハ民法ノ四百五十二條ト云フモノハ、主タル債權者ニ對シテ請求ヲスルコトノ抗辯、四百五十三萬ハ主タル債權者ノ方ニ執行ノ容易ナル財産ガアルカラ、其方ヲ執行シテ然ル後ニ保證人ニ掛カルベシト云フ主張是等ノ主張ヲ持ッテ居リマス、是等ノ主張ヲシテモ差支ナイ、ケレドモ此所デ言ハント欲スル所ハ、破産者ガ異議ヲ述ベテ居ラナカッタ場合ニハ、債權者ノ規定ト云フモノハ破産者ニ對シマシテハ確定決定ノ效力ヲ持ッテ居ルカラ、此破産者ノ強制和議ノ爲ニ擔保ヲ供シタ者ニ對シテモ同時ニ執行ガ出來ルト云フコトヲ規定シタモノデアリマス、ソレカラ此第二項ハ矢張り執行ニ關スル所ノ手續規定ノ順序デアリマシテ二百八十七條二項ノ同様ナ趣旨デアリマス、ソレカラ今度ハ一旦成立シマシタ強制和議ト云フモノガ後ニナリマシテ、不正ノ方法ニ依ッテ成立スルニ至ッタモノト云フコトガ分ルコトガアル、豫メ分テ居レバ不認可イタシマス、ケレドモ、ソレガ後デ分ルト云フコトガアル、其場合ニハ各破産債權者ハ、自ら不正ノ手段デ以テ此讓歩ヲナサシメタ者ハ、其讓歩ヲ取消スコトガ出來ル、ソレデ債權者半額ニ減額シタト云フ場合ニ、其半額ノ減額ヲ取消シテ原額ニスルコト云フコトガ出來ルデアリマス、併ナガラ自分ハ不正ヲ知ッテ至ッタ、併シ知ッテ居タカラ不認可ノ申立ヲセバ出來ル管デアツタノデ、自分ノ意ニ依ッテ不認可ノ申立ヲセザリシガ爲メ結局強制和議ガ成立、タト云フ場合ニハ、自カラ其缺點ヲ看過シタト云フコトニナラカラ、ソレデ後カラ其讓歩ヲ取消スコト云フモノハ出來ナイ、其讓歩ノ取消ハ原因ヲ知ッテカラ一月ノ間行ハナケレバ消滅スル、其強制和議ノ認可ノ極マリマシテカラ二年間行ハナケレバ消滅スル、何時マデモ此讓歩ノ取消ガ出來ルト云フコトニナリマシテ、困ルカラ一定ノ期間内ニ之ヲ打切ルト云フコトニナッテ居ルデアリマス、讓歩ノ取消ハ個々ノ人が自分ノ讓歩ヲ取消シテモ強制和議ハ全體トシテモ尙ホ持續セシムルト云フ意味デアアルデアリマス、ソレカラ三百三十條ハ矢張り各個ノ債權ノ讓歩ヲ取消デアリマシテ、破産者ガ強制和議ヲ以テ定マッテ所ノ條件ノ履行ヲシナイ、履行ヲシマセヌ時ニハ、矢張り其ノ履行ヲ受ケザル債權者ハ讓歩ヲ取消スコトガ出來ル、此二十九條ノ場合モ三十條ノ場合モ同様デアリマスガ、讓歩ヲ取消シマシタ場合ニハ、此破産

債權者ガ強制和議ニ依リテ得テ權利ニハ影響ヲ及ボサナイ、
ダカラ讓歩ハ取消シタ、ダカラ自分ノ債權ハ之ニ復活シタ、
所ガ強制和議ノ結果擔保ヲ提供シテ貰フ、保證人ガ附イテ
居タト云フヤウナ權利ニハ影響ヲ及ボサナイト云フコトニ
ナッテ居リマス、併ナガラ成ルベク不履行ト云フヤウナコト
ノ起ラナイヤウニ、一旦是ヲ以テ得テ所ノ權利ハ其儘ニシ
テ、サウシテ讓歩ヲ取消スト云フ途ヲ茲ニ開イタノデアリ
マス、但シ其讓歩ヲ取消シマシタ者ガ、其部分ノ債權額ト云
フモノヲ其儘ソコデ同率ニ行ハシムルト云フコトニナレ
バ、外ノ債權者ニ對シテ不公平ニナルカラソレデ和議ガ愈
ニ進ミマシテカラ後廻ハシ履行ノ請求ヲスルト云フコト
ニナル、之ハ他ノ債權者ノ調和ヲ圖リ規定デアリマスソレ
カラ三百三十二條ハ之ハ強制和議履行ヲ怠ラタカ意リ方
ガ非常ニ大部分ニ亘リマシテ、大部分ノ債權者ニ對シテ滿
足ヲ與ヘルコトヲシナカッタ、ソコデ破産債權者ノ届出ヲ爲
シタル破産債權者ニ於テ半数以上、其額ガ其届出ヲ爲シタ
ル債權者ノ債權總額ノ四分ノ三ニ當ル是等ノモノガ申立ヲ
シマスレバ強制和議其モノ、取消ヲ義務ト云フコトニナル
ノデアリマス、是ハ大多數ノ人ニ對シテ義務ノ履行ヲセザ
リシ場合ノ制裁ニナル、斯ウナレバ強制和議其モノノ根本
ガ覆ヘルコト云フコトニナルノデ之ヲ取消ニスルノデアリマ
ス、但シ強制和議ノ定ムル所ニ依リテ全部履行ヲ受ケテ仕舞
タト云フモノハ別ニ此不履行ニ付テノ利害ヲ持タナイコト
ニナリマスカラ、斯ウ云フ人ヲ取消スヤ否ヤノ議ニ算入ス
ルコト云フコトハ是ハ意味ヲ爲シマセスカラ、サウ云フモノ
ハ算入シマセヌ、又此債權額ノ方ハ此全部ノ履行ヲ受ケ若
クハ一部ノ履行ヲ受ケタモノニ付マシテハ、全部又ハ一部
部トアリマスノハ即チ強制和議ニ依テ減額シタモノヲ言フ
テ居ル、從前ノ債權額ト云フモノハソレヨリ多イノデアリ
マス、從前ノ破産債權額カラ自分ノ受ケタ全部若シクハ一
ヲ引キマシテ、殘ノモノヲ以テ債權ニシテ履行ヲ受ケタ
モノハ別ニ和議ヲ取消ス所ノ利害ノ關係ガナイカラ履行ヲ
受ケザリシ部分ニ付テ此總債權ト云フモノヲ勘定スルトコ
ロノ元ニ立テルト云フヲ意味デアリマス、ソレカラ矢張此
債權額、總債權ノ計算ハ矢張三百六十二條ノ二項ノ規定ニ
依リテ定メルコトニナルノデアリマス、結局ハ確定債權ナラ
バ其額ニ依リ、其他ノモノニ付テハ裁判所ガ裁量ヲシテ極
メルト云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ三百三十三
條ハ矢張此強制和議取消ノ他ノ場合デアリマス、詐欺破
産ノ事件ガ起リマシテ、サウシテ有罪ノ判決ガ極マッタ時ニ
ハ、此ノ和議事件ト云フモノ、根本ニ此詐欺ガアルト云フ
譯ニナルカラ、破産債權者ノ申出ニ因リ又ハ職權ヲ以テ強制
和議ノ取消ヲスルト云フコトニナルノデアリマス、取消ヲス

ルニ付マシテハ、此有罪ノ判決ガマダ確定スル前ニ……有
罪ノ判決ガアル、併シマダ確定スル前ニ於キマシテモ此強
制和議ガ茲ニ取消サレルト云フコトハ破産手續ガ茲ニ再ビ
行ハレルコトニナルカラ、ソレデ破産宣告前ニ於テ爲スベ
キ所ノ財團等ノ保全處分ト云フコトヲ茲ニスル必要ガ起ル
ノデアリマス、デアリマスカラ百五十四條、百五十五條トヤ
ツハ破産宣告前ニ爲ス所ノ破産財團ノ保全處分デアリマス、
此保全處分ヲ豫メシテ置カネバ、既ニ詐欺ノ破産ガ起ッテ
來テ、取消シテ見テ更ニ破産手續ヲ實行スル場合ニ財產ガ
散逸スル、隱匿スルト云フ虞ガアリマスカラ保全處分ヲ豫
メスルト云フコトヲ決定シタ譯デアリマス、ソレカラ三百
三十四條、之ハ矢張強制和議ノ取消ニナリマシテモ、矢張
是モ債務ガ履行サレナカッタ爲ニスルコトデ、和議ヲ取消シ
タ者ハ詐欺デアッタカラ強制和議ヲ取消シタ、併ナガラ和議
ニ依テ得テ所ノ債權者ノ權利ト云フモノハ動かサナイト云
フコトニハ債權者ノ權利ヲ確保シタ譯デアリマス、ソレカ
ラ愈ニ此強制和議取消ト云フモノガ茲ニ極マレバ破産手續
ヲ更ニ續行スルコトニナルノデアリマス、茲ニ於テ破産宣
告ガ再ビアッタト云フコトニナルノデアリマス、此第一編ノ
適用即チ實體規定デアリマシテ、色々此破産宣告ト云フモ
ノヲ基準ニシマシテ各種ノ法律關係ト云フモノハ極メテ居
タノデアリマス、ソレデ此破産宣告ト云フモノガ茲ニ新タ
ニスル譯デアリマス、強制和議ヲ取消セバ前ノ破産ト云フモ
ノガ茲ニ更ニ續行サレルコトニナル、此強制和議ノ取消ヲ
破産ノ宣告ト認メル、之ガ此第一編ノ規定ヲ適用スルコト
ニナリマス、ソレカラ此三百三十二條ノ場合ニ於キマシテ
ハ、此強制和議取消ノ申立ヲスル、即チ履行ヲ怠ラタ場合ニ
多數債權者ノ申立デ強制和議ノ申立ヲスル、ソレカラ三百
三十三條ノ場合ニハ今度ハ詐欺ノ破産ノ有罪ノ判決ガ確定
シタ、其場合ニ詐欺破産ノ控訴ガ提起サレタト云フ場合、是
等ハ之ヲ以テ支拂ノ停止若クハ破産ノ申立ト看做スト云フ
コトニナッテ居ルノデアリマス、即チ強制和議ノ取消ノ申立
ハ、即チ是ハ破産ノ申立ト看做スト云フコトニナッテ居リマ
ス、ソレカラ強制和議ガ此處ニ成立チマス、其間破産ハ止
マッテ居リマスカラ、即チ債務者ノ自由ニ財產ヲ處分スルコ
トガ決テ居ル、自由ニ管理シテ居タ間ニ更ニ破産原因ト
云フコトガ無論アル、デアリカラ強制和議ノ取消ノ申立、或
ハ控訴ノ提起ト云フコトガアル前ニ支拂ノ中止、ソレハ即チ
事實的デアリマスカラ、ソレヲ以テ支拂ノ中止破産ノ申立
ト見ルノガ當然デアリマスガ、サウ云フモノガナケレバ、此
取消ノ申立ヲ控訴ノ提起ヲ以テ支拂ノ中止又ハ破産ノ宣告
ト看做スト云フ此一編ヲ適用スルニ付テハ支拂ノ中止ノ前
後、或ハ破産ノ申立ノ前後ト云フコトヲ適用シマス、其適

用ヲスルト云フコトガ控訴ノ申立ニ適用シテ參ルト云フ事
ノ意味ノ手續デアリマス、結局單ニ破産ヲ續行スルノ恰
モ此處デ以テ、破産宣告シタノト同ジヤウナ意味合デ働
カシテ行カウト云フ規定ガアリマス、ソレカラ三百三十七
條ハ矢張此破産宣告ノ手續、宣告前ノ法人處分等ノ手續、是
ハ矢張強制和議ノ取消ニ引スル、即チ破産宣告ト同ジヤ
ウニナリマスカラ、其趣意ニ準ジテ取扱フスルト云フコト
ニナリマス、デ強制和議取消ノ場合ニハ、和議取消ノ申立ト
云フモノガ此處ニアルト云フ譯デアリマス、ソレニ依リテ取
消サレマスレバ、破産手續ガ續行サレマスカラ、費用ト云
フモノハ豫納セシムルト云フ事ハ、一時國庫カラ假ニ支辨
シテ置ク、更ニ財團ト云フモノカラ金ガ出テ參リマスレバ
ソレカラ國庫ノ方ニ辨償スルト云フコトニナッテ居リマス、
ソレカラ今度ハ愈ニ強制和議ヲ取消シマシテ、更ニ破産手
續ヲ續行スルト云フ場合ノ規定ハ三百三十八條カラ四十條
マデノ規定デアリマス、即チ此場合ニハ法律上ハ色々ノ性
質ガアルカモ知レマセヌガ、詰リ強制和議ヲ取消マスト云
フト、其前ニ破産ニ關係シテ居リマシタ破産債權者ト云フ
モノガ、之ガソコリ今度ノ破産ノ續行ノ場合ノ破産債權者
ニナッテ來ル、強制和議ガ出來上ッテ自由ニ財產ヲ處分
シテ居リマス間ニ、色々債權者ガ出テ參リマス、是ハ新債權
者デ前ノ破産ニ關係ノナカッタ者デアリマス、ソレ等ノ者モ
一時自由時代ト云フモノガ出來テ居リマスカラ、ソレ等ノ
債權者モココニ這入ッテ來ル、ダカラソレ等ノ新シイ債權者
ト、前ノ強制和議ノ債權者ト兩方ミナナリマシテ、サウシ
テ破産手續ヲ續行シテ參ルト云フ、斯ウ云フ場合ニナルノ
デアリマス、デ其新シイ債權ニ付マシテハ、前ノ債權届出
原則ニ從ヒマシテ、届出ヲシテ調査スルト云フコトニ
ナリマス、從前ノ破産債權額ト申シマスハ、即チ強制和議
ヲ取消ス前、前ノ破産前ニ於ケル債權者ヲ云フノデアリ
マス、其從前ノ破産債權額ノ額ヨリ強制和議ノ定ムル所ニ
從ッテ受ケタル所ノ額、強制和議デ以テ月々幾ラヲ分割シ
テ拂フト云フゴトガ極マッテ居リマスレバ、ソレニ依リテ
權トシマシテ、サウシテ續行破産ノ破産債權トシテ權利
ヲ行使スルコトニナルノデアリマス、ソコデ從前ノ破産
債權ニ付テハ、三百三十八條三百三十九條從前ノ確定債
權ニ付マシテハ強制和議ノ定ムル所ニ依リテ強制和議デ
以テ幾ラカ支拂フシタ、幾ラシタノデアリカ、其コトノミ
ノ取調ヲスレバ根本ノ債權ハ確定シテ居ルノデアリマ
スカラ、其根本ノ債權ノ額及債權ノ原因等ヲコモマデ調
査スル必要ハナイ、強制和議デ幾ラ受ケタト云フコトダ
チヲ調べレバ、ソレデ此債權ハ結局極マル譯デアリマス、其
他ノ新ナル債權ニ付テハ普通ノ手續ニ依リテ債權ノ調査ヲ

スルト云フコトニナルノデアリマス、ソコデ配當ノ公平ヲ期スルト云フコトデ、三百四十條其強制和議ノ效力ヲ受ケタル債權即チ前ノ破産債權者ガ強制和議ニ依ッテ幾ラ辨濟ヲ受ケテ居ルト云フ者ガアル、斯ノ如キ時ニハ先ヅ其額ト云フモノヲ受ケテ者ヲ一應財團ノ方ニ返還シマシテ、事實上返スノデアリマセヌガ、財團ダケデ金額其モノヲ返スノデアリマセヌガ、計算ノ上ニ於テハ先ヅ之ヲ受ケザリシコトニシテ、財團ノ方ニシテ加ヘマシテ、サウシテ今度其加ヘタ所ノ財團デ以テ配當ノ率ト云フモノヲコニ極メテ、サウシテ從前ノ破産債權者ニシレバ幾ラ廻ッテ來ルルカ、其率ヲ定メマシテ順次ニ配當ヲ重テ參リマシテ、強制和議ノ定ムル所ニ依ッテ受ケタ所ノ額マデ配當ノ率ガ參リマス間ハ現實ノ配當ヲ受ケナイ、紙ノ上ノ配當ダケ受ケテ自分ガ強制和議ノ定ムル所ニ依ッテ受ケタ金額マデ配當率ガ上テ參リマシテ、其上ニ超過シテ出テ參リマシタダケハ現實ノ配當ヲ受ケルト云フコトデ、詰リ後トカラ還入ッテ來タ債權者トノ均衡ヲ取ルコトニナッテ居ルノデアリマス、現實ニ財團ニ返スノデアリマセヌガ、財團ニ一應返シタコトニシテ配當ノ率ヲ極メテサウシテ幾ラ高クナル譯デアリマス、サウシテ現實ノ配當ハ受ケザリシコトニシテ、自分ハ受ケナイノデアリマシテ受ケタ額マデ上ッテ來ルマデハ現實ニハ自分ハ配當ハ受ケナイ、サウシテソレニ達シマシタ以上ノ分ダケニ配當率ガ上ッテ來タ時ニ其配當ヲ受ケルト云フコトデ、前債權者ト後債權者トノ配當額ノ均衡ヲ得ルト云フコトヲ三百四十條規定シタノデアリマス、填地利制度ニ則ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ三百四十條ハ破産終結ノ後ニ即チ強制和議ガ出來マシタ後ニ、破産者ガ強制和議ノ效力ヲ受ケタル債權者等ニ對シテ爲シタ所ノ擔保ト云フモノハ、強制和議ガ取消サレバ、其效力ハ失フデアル、是ハ取消ニナリマシレバ、更ニコニ破産ト云フ問題ガ起ッテ參リマスカラ、中間ニ與ヘタモノハ其效力ヲ失フト云フコトニ規定シタノデアリマス、ソレカラ三百四十二條ハ強制和議ノ效力ヲ受ケタルモノハ此從前ノ債權、即チ前ノ破産手續ニ於ケル破産債權ニ付テハ破産ノ申立ヲスルコトハ出來ナイト云フコトニナッテ居リマス、サウシテ此強制和議ヲ取消シマシタ時ニ、新ニ破産ノ原因ト云フモノガ茲ニ起ッテ居ルト云フノハ此強制和議中、即チ破産手續ガ止マッテ居ル間ニ色々商取引ガアリマスカラ、ソレニ依ッテ破産原因ト云フモノガ發生シテ、サウシテ更ニ破産ノ申立ト云フモノガ茲ニ來テ居ル、所ガ強制和議ガ出來テ居ル、之ニ對シテ取消シノ申立ガ來テ居ル、此ニツガ玆ニ此處ニ來テ居ル場合ニ元ノ強制和議ヲ取消シテ、サウシテ元ノ破産手續ヲシテ行カ、或ハ新シイ原因ニ依ッテ玆ニ破産ノ申立ガア

リマシタ時ニ其破産宣告ヲシテ、サウシテヤルノカ、ト云フコトヲ玆ニ定メテ居ルノガ三百四十條ノ規定デアリマシテ、即チ強制和議取扱ノ申立ト破産ノ申立ガアリマシタ時ニハ、裁判所ハ其ノ一ツニ依ッテ或ハ強制和議ヲ決定スルナリ或ハ第二破産申立ニ依リマシテ破産ノ宣告ヲスレバ他ノ一ツノ申立ハ之ヲ却下シナケレバナラヌ、ソレニ依ッテ此二ツノ調和ヲ圖ラシテ譯デアリマス、ソコデ第二破産ガ其處ニ起ッテ來マシレバ、一方ノ此強制和議ト云フモノ、債權者モソレニ加ハリマシテ、サウシテ第二破産ノ強制和議ノ債權者ト云フモノガ玆ニ一緒ニナッテサウシテ其手續ヲ實行スルト云フコトニナリマス、ノガ三百四十四條ノ規定デアリマス、ソレカラ三百四十五條ハ相續財產ニ對シテ破産ノ宣告ガネリマシタ時ニハ其相續人ハ強制和議ガ完全ニ履行シ終ハラレル前マデハ其相續財產ヲ自分ノ固有財產ト同一ノ注意ヲ以テ之ヲ管理シテ居ラナケレバナリノデアアル、尤モ強制和議ガ其管理方法ト云フモノヲ別ニ決メテ居リマスレバ、ソレニ從フハ勿論デアリマス、然ラザル場合ニ於キマシテハ特ニ此相續財產ト云フモノニ付テノ保管ノ義務ヲ負ハシテ置ク必要ガアルノデアリマス、第二項ノ民法ノ規定ハ保管者ニ付テノ注意義務ノ規定等デアリマス、ソレカラ三百四十六條ハ其百三十一條ノ規定ヲ相續財產ニ關スル強制和議取消ノ申立ニ準用スルト云フ規定デアリマス、矢張此財產ガ分割シ得ル狀態ニアル間ニ於テノ強制和議取消ノ申立ヲスルコトガ出來ルト云フコトヲ規定シタニ過ギナイモノデアリマス

○委員長(伯爵松平頼壽君) 一寸此處デ切りマシテ、御質問ヲ願ヒマセウ

○菅原通敬君 「強制和議ノ效力ヲ受ケタル債權者」ト云フノハ強制和議ニ定ムル所ニ從ッテ債權全部ノ履行ヲ受ケタモノヲ云ヒマシスルカ、受ケタルモノヲ云ヒマシスルカ

○府委員(池田寅二郎君) 強制和議ニ依リマシテ強制和議ノ決議ノ結果ヲ及ボスベキ範圍ノ債權者、斯ウ云フ意味デアリマス、例ヘバ強制和議デ半分ダケ議歩スルコトヲ決メレバ、其效力ヲ受ケタル債權者ト申シマシレバ、其決議ニ拘束ヲ受ケタル所ノ破産債權者ヲ指シテ強制和議ノ效力ヲ受ケタル債權者ト云ヒマス

○菅原通敬君 サウスルトマダ破産者ノ方ガ全部ノ履行ヲ終ッテ居ラナイト云フ狀態ニアル場合矢張效力ヲ受ケタル者ト云ヒマシスルカ

○府委員(池田寅二郎君) 左様デアリマス、其效力ガ及ンデサウシテ初メテ強制和議通りニ履行ヲ受ケタル所ノ權利ト云フモノガ新ニ出來ル譯デアリマス、ダカラ半分議歩スル、ソレニ對シテ斯ウ云フ擔保ヲ出スト云フ事ガ玆ニ強

制和議ニナリマシタトスルト其效力ヲ受ケタルモノガ、總テ自分ノ債權ガ半分ニナル、其代リニ其擔保ニ對シテ權利ヲ行フコトガ出來ルト云フコトニナルノデアリマス

○菅原通敬君 一寸マダ分リマセヌガ、強制和議ノ定ムル所ニ依ッテ色々ノ履行ノ方法ガ定マル、其定マツタ所ノモノニ從ッテ債權ノ支拂ヒヲ受ケルベキ關係ニ立ッテ居ルモノガ其效力ヲ受ケタル債權者ソレデ假リノ履行有ルト否トハ問ハナイ、斯ウ云フコトニナリマス、此三百四十二條ニ依ッテ「效力ヲ受ケタル債權者ハ從前ノ債權ニ付テハ破産ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス」ト書カレルト、向フガ義務不履行デ意ッテ居ルニ拘ラズ尙ホ且前ノ債權ニ付テ破産ノ申立ヲ爲スコトガ出來ナイト云フコトハ如何ナモノデアリマセウ

○府委員(池田寅二郎君) ソレハ其積リデアリマシテ、若シ其履行ヲセナカッタガ爲ニ多數ノ債權者ト云フモノガ迷惑スル場合ニハ三百三十二條ニ依ッテ強制和議ノ取消ヲスルト云フコトニシテ、ソレカラ又自分一人デアリマスルナラバ、三百三十三條ニ依ッテ議歩ノ取消ヲスルコトヲ云フコトニナルノデアリマス、兎モ角モ其破産ヲ止メル協議ニ依ッテ破産ヲ止メルト云フノガ、是ガ強制和議ノ目的デアリマス、サウシテ置キナガラ、一旦止メテ仕舞ッテ破産ノ申立ヲスルト云フコトハドウモ面白クナイト云フコトデ破産ノ申立ヲ禁ズル、若シ不履行ガ出來テ、多數ノ者ガ損害ヲ受ケタ場合ハ強制和議ヲスル、サウシテ元ノ破産ヲ實行スルコトニナリマス

○菅原通敬君 第一ノ破産ヲ行カウト云フ譯デアリマスカ

○府委員(池田寅二郎君) サウデス

○藤田四郎君 菅原サンノ御尋デ、一寸少シ迷ッテ來マシタガ、三百四十條ノ場合ニ付テモ書キ具合デ「效力ヲ受ケタル」ト云フテ、其時矢張受ケタルモノアルトキハ「斯ウアッタ」トデアリマス、カ、其強制和議ニ關係シテ、サウヤッテ置イテ、サウシテ既ニ其分ノ幾分ヲ受ケタト云フ事ニナッテ居ル、デ此四十二條ノ方ノ場合ニハ「效力ヲ受ケタル」ト云フノハ唯強制和議ニ恩與セラレル人ト云フ意味デスカ

○府委員(池田寅二郎君) イヤ其效力ヲ受ケタルモノト申シマスレバ、今申シマシタヤウニ強制和議ニ依ッテ拘束ヲ受ケルト云フモノデアリマス

○藤田四郎君 金ヲ取ル、取ラヌトハ別デアリマスカ

○府委員(池田寅二郎君) 左様デアリマス

○男爵矢吹省三君 三百二十九條ノ「強制和議ガ不正ノ方法ニ因リテ成立スルニ至リタルトキ」ト云フノハ具體的ニ云フトドウ云フ場合デスカ

○府委員(池田寅二郎君) 強制和議ニ賛成ヲセシメル爲ニ、債權者ニ對シテ脅迫ヲ加ヘルト云フヤウナコトモ一ツ

デアラウカト思ヒマスシ、或ハ不正ノ利益ヲ與ヘテ賛成ヲセシメルト云フコトモ一ツノ例デアラウカト思ヒマス

○男爵矢吹省三君 ソレデ此不正ノ方法ト云フモノガ全體……強制和議全體ヲ無効ニセシメルトカ、或ハ取消サセルヤウナ場合、取消サセテ方ガ宜イト云フヤウナ事ガアリハ

シナイカト思フノデゴザイマスガ、此三百二十九條ハ唯一部ノ債權者ニ對シテノ不正ガ行ハレタ場合ノ規定デアリマスルガ、一般的ニ此不正ノ方法ニ依テ債權者ヲ害スルニ

モ拘ラズ、強制和議ガ成リ立タト云フヤウナ場合ノ取消ニ付テハ、此條文ガ當該ナイヤウデスガ、サウ云フヤウナ一般的ノ場合ニ付テノ取消ヲ規定スル必要ハ無いノデアリマス

○政府委員(池田寅二郎君) チョット速記ヲ止メテ下サイ

○委員長(伯爵松平賴壽君) チョット速記ヲヤメテ……

○委員長(伯爵松平賴壽君) モウ速記ヲ始メテ宜シイ、モウ少シ繼續イタシマスカ

○藤田四郎君 ドウゾモウ少シ……

○委員長(伯爵松平賴壽君) チョット速記ヲ止メテ……

○委員長(伯爵松平賴壽君) 速記ヲ始メテ……

○政府委員(池田寅二郎君) 第十章ハ破産廢止ニ關スル規定デアリマス、破産ヲ一旦行ヒマシタケレドモ、案外債務者ニハ信用ガアツテ、其破産ヲ續ケテ置ク必要ガ無い、全ク止メテシマフ方ガ却ツテ宜シイト云フヤウナコトガ起ル場合モアリマスシ、又次ニ其財團ト云フモノガ少クシテ、費用モ足リナイト云フ爲メニ廢止スルト云フヤウナ場合モアリマス、第三百四十七條ハ其前ノ方ノ場合ヲ見テ、規定シテ居ルノデアリマス、デ此債權届出ノ期間内ニ届出デマシタ破産債權者ノ全體ノ同意ヲ得ルカ、然ラズンバ同意ヲシナイ者ニ對シテハ、破産債權者ノ同意ヲ得ズシテ、ソレニ破産財團ノ方カラ相當ノ擔保ヲ供シテ、サウシテ此破産ノ廢止ヲセラレン事ノ申立ヲ破産者ガ出來ル、デ破産者ノ方カラ申立ガ出來ルト云フ事ニナツテ居ルノデアリマス、ソコデマダ確定シテ居ラナイ債權ニ付キマシテ……調査ガ出來テ居ナイ債權ニ付キマシテ、其債權者ノ同意ヲ得ルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、恰モ議決權ノ行使ニ付キマシテ規定セラレマシタノト同ジヤウナ趣旨デ以テ、裁判所ガ裁決シテ之ヲ決メル、ソレカラ破産債權者ニ對シテ供シマスル所ノ前項ノ擔保ト云フモノノガ、果シテ相當デアアルカドウカト云フコトニ付キマシテモ、亦同様デアリマス、是デ以テ破産ヲ廢止スル申立ガ付クト云フ譯ニナリマス、ソレデ法人ガ破産ノ宣告ヲ受ケテ居リマスル場合ニ、其破産ノ廢止ノ

申立ヲスルト云フ場合ニ於キマシテハ、矢張り前ノ強制和議ノ所ニアリマシタノト同ジヤウナ理由ヲ以テマシテ、法人ヲ繼續スルト云フ手續ヲセナケレバナラヌノデアリマス、其手續ハ三百一十一條ノ規定デ以テ之ヲ取扱フコトニナリマス、ソコデ此破産廢止ノ申立ヲ致シマスニ付キマシテハ三百四十七條及三百四十八條等ニ依テ極テ居リマスル所ノ中立ヲ爲ス必要條件ト云フモノガチヤント極テ居ルト云フ事ヲ書面ヲ以テ立證スル、證書ヲ差出シテ、サウシテ申立ヲシナケレバナラヌト云フ事ニナツテ居リマス、ソレガ三百四十九條、三百五十條ハ其申立ガアリマシタ時ニ裁判所ハ其旨ヲ公告シマシテ、利害關係人ニ之ヲ見セル爲ニ其書類ヲ裁判所ニ備ヘテ置ク、サウシテ三百五十一條ニ依テ其公告ガアリマシタ日ヨリ二週間内ニ、其申立ヲ許スベキヤ否ヤト云フ事ニ付テ、許スベカラズト思フナラバ、裁判所ニ異議ノ申立ヲスル事ガ出來ルコトニナツテ居リマス、ソレデ其期間經過ノ前ニ二週間内ニ届出ヲ爲シタ債權者ガアリマスレバ、ソレ等モ亦異議ノ申立ヲスルコトガ出來ル、ソコデ三百五十三條デ以テ裁判所ハ其破産廢止ノ申立ノ事件ニ付キマシテ、今ノ期間ノ經過ノ後、破産廢止ノ決定ヲ爲ス條件ガ備テ居ルカドウカト云フコトニ付キマシテ、破産者或ハ管財人竝ニ異議ヲ申立テタル債權者、ソレ等ノ者ノ意見ヲ聽イテ、サウシテ之ヲ許スヤ否ヤト云フコトヲ決定スルコトニナリマス、ソレガ破産ノ廢止ヲスル場合ノ一ツデアリマス、ソレカラ三百五十三條、是ハ第二ノ場合デアリマシテ、破産財團ガ貧弱ニシテ手續ノ費用ヲ償フニ足ラナイ場合ニハ、矢張り破産廢止ノ決定ヲスルコトニナツテ居リマス、是ハ初メ破産宣告ヲスル時ニ分テ居レバ其宣告ト同時ニ廢止ヲスルコトニナリマス、是ガ後ニ至テ段々財産ガ足リヌヤウニナリマシタ場合モ矢張り廢止ノ決定ヲスル、併テ此場合ニハ債權者集會ノ意見ヲ聽イテ破産廢止ヲスル事ニ極メルノデアリマス、第二項ハ破産宣告ノ場合ト廢止ト同ジヤウナコトデ、無責任又ハ保證責任ノ相互保險會社、産業組合ト云フヤウナモノニハ、手續ノ費用ヲ取立テル途ガアリマスカラ、廢止ノ決定ハシナイ、又其金額ヲ他カラ豫納シテ參リマシタ時ハ取テ廢止スル必要ハアリマセヌカラ廢止ノ決定ハアリマセヌ、結局費用ガ足リナイト云フコトノ爲ニ廢止ノ決定ヲスルノデアリマス、ソレデ三百五十四條ハ廢止ノ決定ヲシマスレバ其公告ヲスルト云フコトニナリマス、ソレカラ三百五十五條ハ廢止ノ決定ガ極マレバ破産ハソレデ無クナルノデアリマス、管財人ハソレマデ破産手續ノ執行上任務ヲ終ラナイノデアリマス、即チ財團ノ債權ヲ辨濟シテ、ソレニ付テ異議ガアルモノニ付キマシテハ、破産債權者ノ爲ニ之ヲ供託スル、サウシテモウ任務ヲソコデ

離レルト云フコトニナルノデアリマス、アトハ其債權ガ果シテ有リヤ否ヤト云フコトハ、當事者間ノ訴訟等ニ依テ之ヲ決定スルコトニナル、管財人ハソコデ供託シテ自分ノ任務ヲ終ルト云フコトニナル、ソレカラ三百五十六條ハ是ハ二百九十一條九十二條ノ規定即チ破産廢止ノ申立ヲスルノハ丁度強制和議ノ提起ヲ致シマス、同様、法人ニアリテハ理事等ノ代表者ガ一致シナケレバナラヌ、相續ノ場合ハ相續人カラ破産廢止ノ申立ヲスルト云フ事ガ二百九十一條、九十二條ノ規定デアリマス、ソレカラ二百八十七條ト云フノハ、此破産廢止ノ決定ガ確定イタシマシタ場合、前ノ破産手續ニ於テ破産者ガ異議ヲ述ベマシテ債權ガ確定シテ居リマシタ時ハ、債權表デ強制執行ガ出來ルト云フコトノ意味ノ規定デアリマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 御質問ヲ願ヒマセウ

○菅原通敬君 破産廢止ノ決定ガ確定シタルトキ破産管財人ハ財團債權ノ辨濟ヲ爲スベシト云フコトガアリマス、此財團債權ノ辨濟ヲモスルコトガ出來ナイ場合ニ於テ、破産廢止ヲスルヤウナコトハ無いノデアリマセウカ

○政府委員(池田寅二郎君) 此廢止ヲ致シマス場合ニハ、財團債權ヲ支拂フコトガ出來ナイ、或ハ全部若クハ一部ノ支拂ノ出來ナイ場合モアルコト思ヒマス

○菅原通敬君 若シ財團債權ノ辨濟ヲ爲スコトガ出來ナイ場合ハドウナリマスガ

○政府委員(池田寅二郎君) 其場合ハ隨分法律家ノ間ニ議論ノアルコトデアリマスケレドモ、矢張り破産者ノ方ノ債務トナツテ殘ルコトニナリマス

○藤田四郎君 大體右ノ場合ハ財産ヲ提供スルノデゴザイマス、訴ヘマシタ時ニ金ヲ受取ルノデゴザイマセウカ、費用ハ……破産債權者ト云フモノガ訴ヲ起シタトキ、若干、金ヲ提供シテ費用ヲ見積ツテ出サセルノデゴザイマス、尤モ或場合ハ無クナル場合ガアリマスガ、大抵ノ場合ハ有ルノデアリマスナ……

○政府委員(池田寅二郎君) 破産ノ申立ヲ致シマス場合ハ費用ヲ豫納スルコトニナツテ居リマス、ソレカラ財團債權等ノ支拂ヲスルノデアリマスケレドモ、其豫納額ト云フモノモ、財團債權トシテ拂ハナケレバナラヌコトニナリマス

○藤田四郎君 サウスルト、ソレハ無論債務者ニ向テ來ルデセウガ右ノヤウナ場合ニハ大抵拂ハナイノデスカラ、矢張債務者ノ損ト見ナケレバナラヌ

○政府委員(池田寅二郎君) 其形ニ於テ殘リマスガ、金ガ無イカラ破産シテ財團モマルデ貧弱デアルト云フ事ニナルト、先ヅ債務者ノ方ガ結局イケナイ事ニナリマセウ、併シ權利義務ノ關係ヲ申シマシタノデ、其債務者ノ義務トシテ殘ル

ト云フコトヲ申シタノデアリマス

○委員長(伯爵松平頼壽君) ソレナラバ今日ハ是デ委員會
ヲ閉デマス

午後三時五十分散會
出席者左ノ如シ

伯爵松平 頼壽君

松室 致君

河村 讓三郎君

男爵矢吹 省三君

藤田 四郎君

加太 邦憲君

菅原 通敬君

政府委員

司法省民事局長 池田 寅二郎君

司法省參事官 三宅 正太郎君

大正十一年二月十四日印刷

大正十一年二月十五日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局